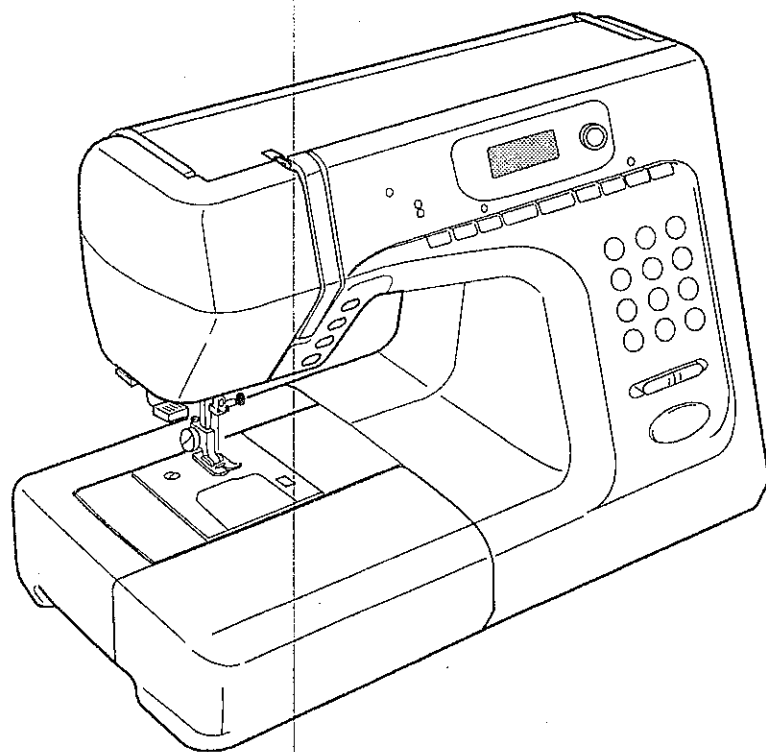


使い方の手びき

《取扱説明書》










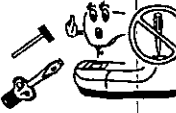







Memory Craft 5100

JANOME

安全上のご注意

- ◆ ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆ このミシンは、日本国内向け家庭用です。FOR USE IN JAPAN ONLY.

絵表示の例

	<p>△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。</p>
	<p>○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。</p>
	<p>●記号は、行為を強制したり、指示したりする内容を告げるものです。 図の中には具体的な注意内容（左図の場合は一般的な強制）が描かれています。</p>
<p>警告 感電・火災の恐れがあります。</p>	
<p> 一般家庭用 交流電源 100 V でご使用ください。</p>	<p> 以下のような時は、電源スイッチを切り電源プラグを引き抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき 
<p>注意 感電・火災・けがの原因となります。</p>	
<p> フットコントローラーの上に物をのせないでください。 【禁止】</p> 	<p> ミシン操作時は、面板などのカバー類を閉じてください。</p>
<p> お客様自身での分解はしないでください。</p> 	<p> お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される時は、特に安全に注意してください。</p> 
<p> ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。</p> 	<p> 以下のことをするときには、電源スイッチを切ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・針・針板・押さえ・アタッチメントを交換するとき ・上糸・下糸をセットするとき ・ランプを交換するとき（ランプが冷えてから行ってください。） ・ミシンのお手入れを行うとき 
<p> めいの途中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。 【禁止】</p>	<p> ミシン・フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正常に作動しないとき ・水に濡れたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・電源コード・プラグ類が破損、劣化したとき
<p> 曲がった針はご使用にならないでください。 【禁止】</p> 	
<p> 針及び押さえは、確実に固定してください。又、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。</p>	

※仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

目次

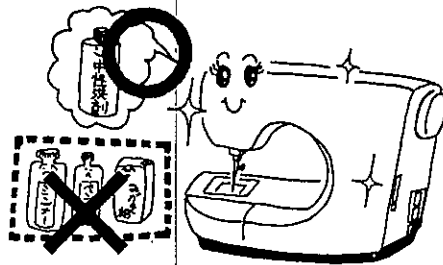
おとり扱いについてのお願い	2
●各部の名称	3
●輝度調節ダイヤル	4
●補助テーブルの使い方	4
●標準付属品と収納場所	5
●操作方法	6~25
○電源のつなぎ方	6
★スタート・ストップボタンを使用する場合	6
★フットコントローラー(別売品)を使用する場合	6
○速さの調節の仕方	6
★スピードコントロールつまみ	6
★フットコントローラー(別売品)	6
○スタート・ストップボタン	6
○キーの主なはたらき	7~10
○もようの選び方	11
○お好み記憶モード/プザー音/多国語設定方法	12
○ドロップつまみの使い方	13
○押さえ圧ダイヤル	13
○押さえ上げ	13
○押さえのとりかえ方	14
○押さえホルダーのはずし方、つけ方	14
○針のとりあつかい	15
★針のとりかえ方	15
★針のしらべ方	15
★布に適した糸や針を選ぶ目安	15
○下糸の準備	16~18
★糸こまのとりつけ	16
★ボピンのとりだし	16
★ボピンに糸をまく	17
★ボピンのセット	18
○上糸のとりつけ	19~21
★上糸をかける	19
★糸通しの使い方	20
★下糸の引き上げ	21
○糸調子のあわせ方	22
★自動糸調子	22
★マニュアル糸調子	22
○直線ぬい	23
★ぬい始め	23
★ぬい方向の変更	23
★ぬい終わり	23
○針板ガイドラインの利用	24
○コーナーリングガイドの利用	24
○キルターガイドの利用	24
○厚手の布のぬい始め方	24
○ぬい目のあらさをかえるとき	25
○直線ぬいの針落ち位置をかえるとき	25
●いろいろな実用ぬい	26~55
○直線状のぬい目いろいろ	26~27
○ジグザグぬい	28
○ジグザグぬいたち目がかり	29
○トリコットぬいたち目がかり	29
○ニットステッチ	30
○その他のかがりぬい	30~31
○ボタンつけ	32

○センサーボタンホールの種類	33
○センサーボタンホール(#08)	34~36
★ぬい方	34~36
★ぬい目のあらさ調節	36
★ぬい目の巾調節・・・もよう#17/18	36
○センサーボタンホール(#09/#10)	37
○芯入りセンサーボタンホール	38
○オートボタンホール(#19)	39
○ファスナーつけ	40~41
★ファスナー押さえのつけ方	40
★準備(例:左脇あきのぬい方)	40
★ぬい方	40~41
○かんぬき止めぬい	42
○三つ巻きぬい	43
○くけぬい(まつりぬい)	44
○ピンタック	45
○キルティング	45
○シェルタック	46
○アップリケ	46
○スモッキング	47
○スカラップ	48
○パッチワーク	49
○もよう密着ぬい	49
○飾りぬい	50
○コーディング	51
○2本針ぬい	52
○もようの形の整え方	53
●プログラムぬい	54~56
○連続もようぬいの例	54
○止めぬいを使ったもようぬいの例	54
○反転記憶を使ったもようぬいの例	55
○プログラムぬいを途中でやめたとき	55
○エロンゲータぬい	56
●編集機能(1)	57~58
○プログラム内容の確認	57
○内容の一部を取り消すとき	57
○内容の一部挿入	58
●編集機能(2)	59
○統一マニュアル方式	59
○個別マニュアル方式	59
●ミシンのお手入れ	60
○かまと送り歯の掃除	60
○内かまと針板の組みつけ	60
●ランプのとりかえ方	61
●ミシンの調子が悪いときの直し方	62

おとり扱いについてのお願い

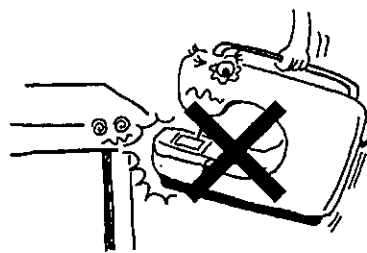
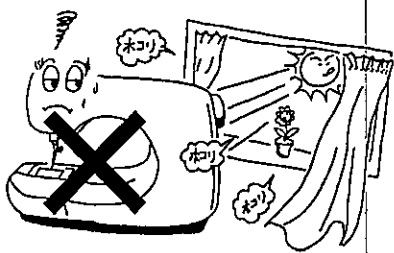
◇ご使用前に

- ① ほこりや油などで、ぬう布を汚さないように、使う前に乾いたやわらかい布でよくふいてください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



◇いつまでもご愛用いただくために

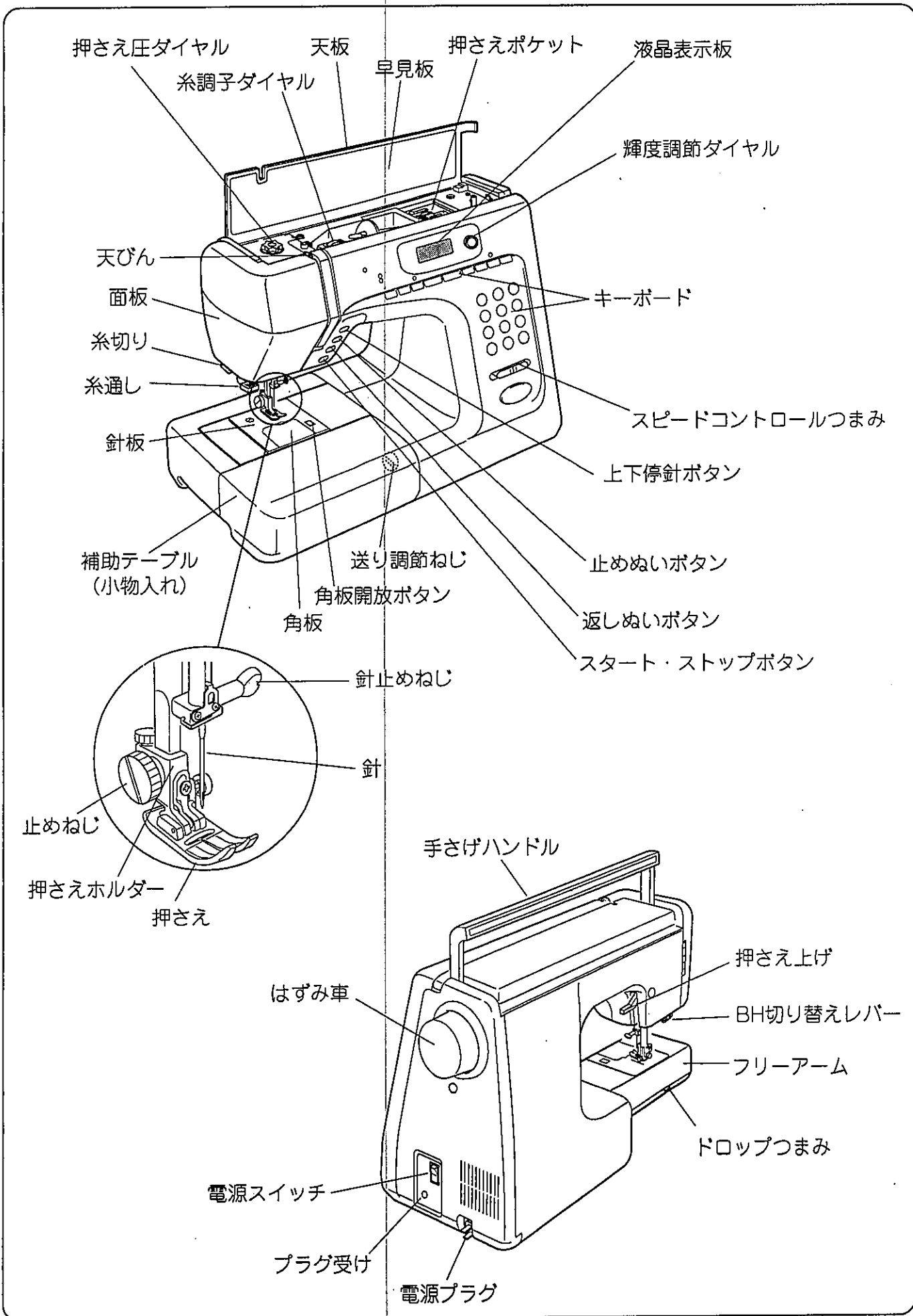
- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところはさけてください。
- ③ 落としたり、ぶつけるなど衝撃を与えないでください。



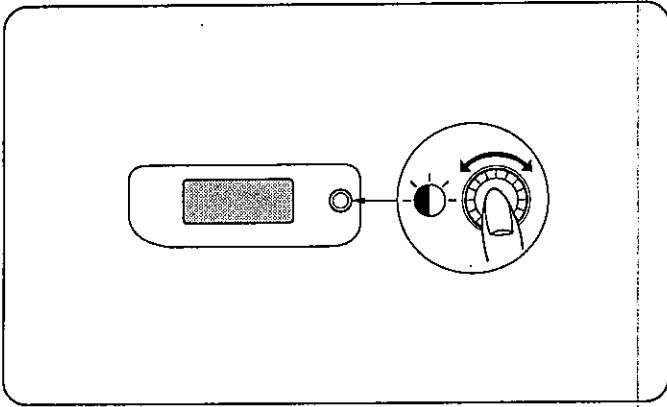
◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(62ページ)により点検・調整を行ってください。

●各部の名称

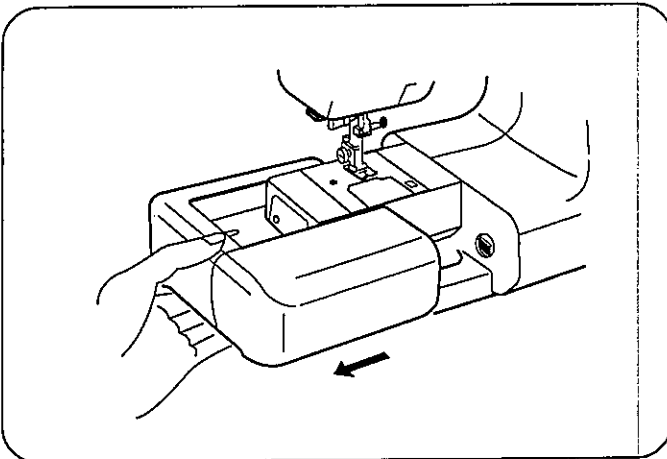


●輝度調節ダイヤル



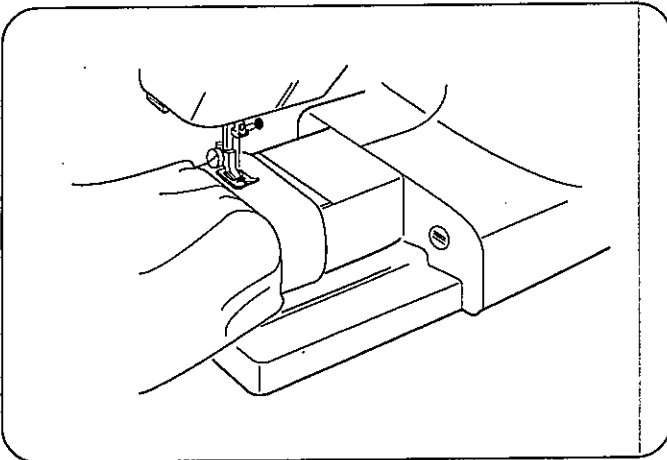
ダイヤルをまわすと液晶表示板のあかるさが変わります。

●補助テーブルの使い方



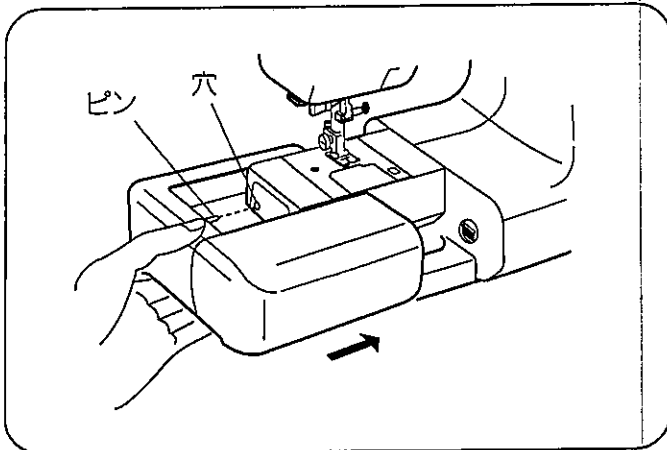
【はずし方】

補助テーブルの下側に手をかけて、横に引いてはずします。



【フリーアームの使い方】

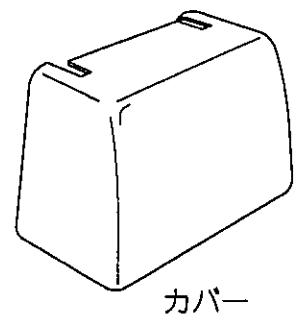
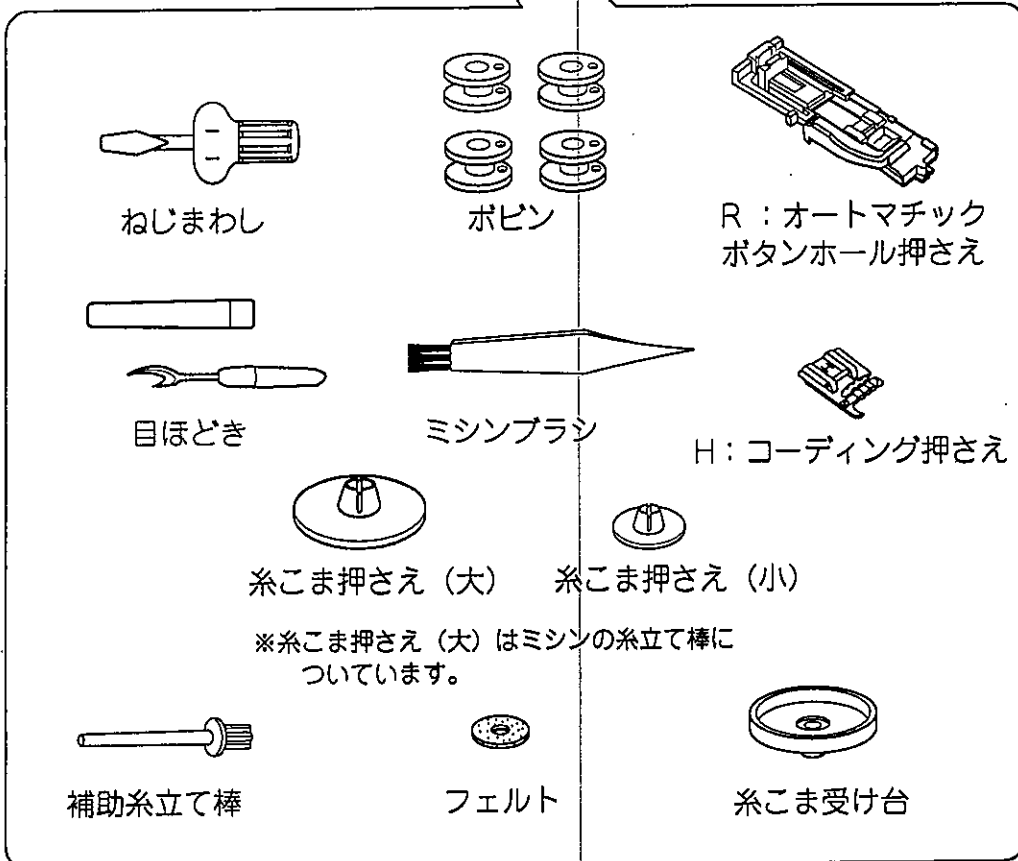
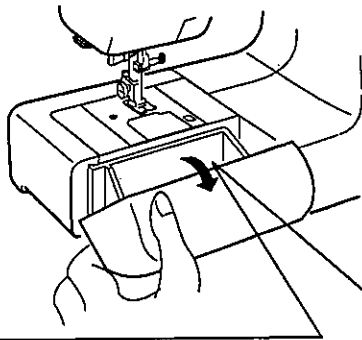
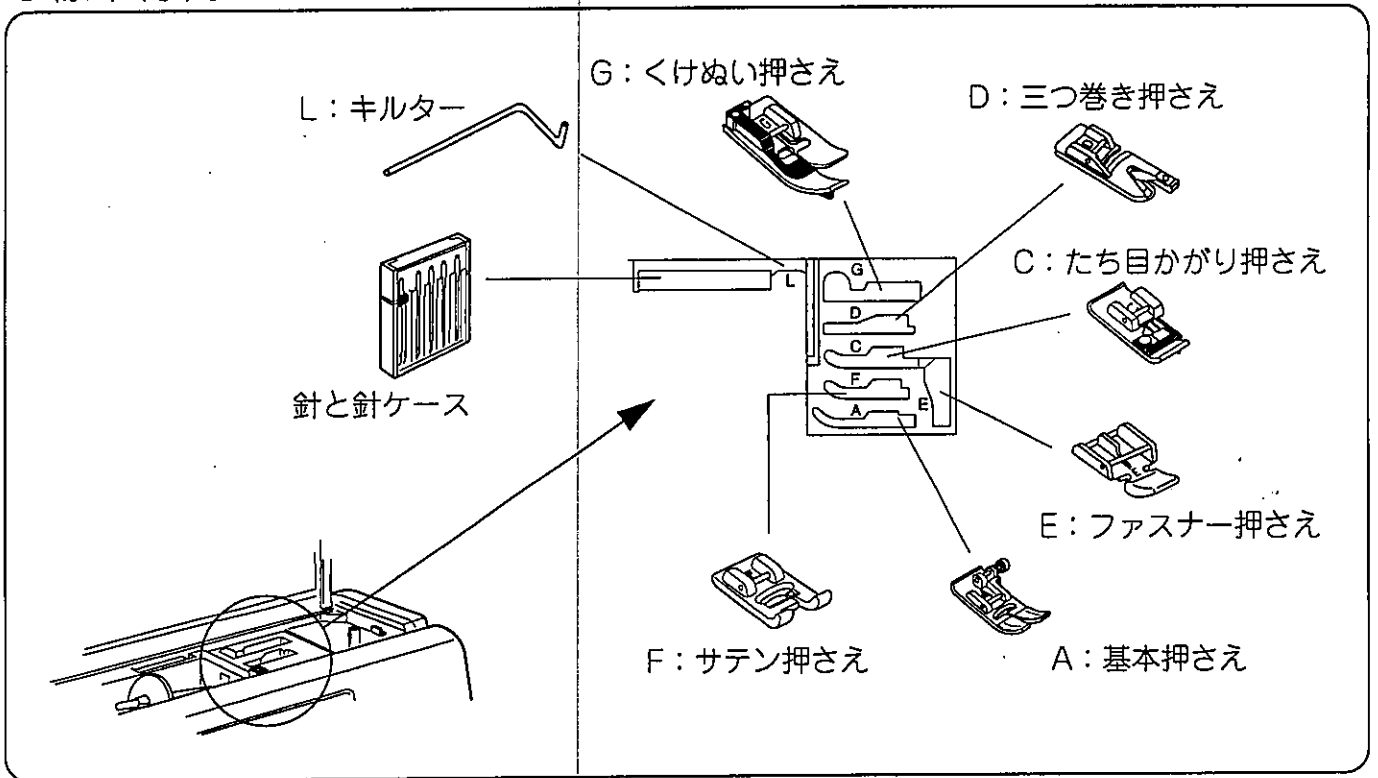
そでぐち袖口やすそなどのぬい、およびくちはしふくろ物の口端の始末に利用します。



【つけ方】

フリーアームにそわせ、ピンを穴に入れとりつけます。

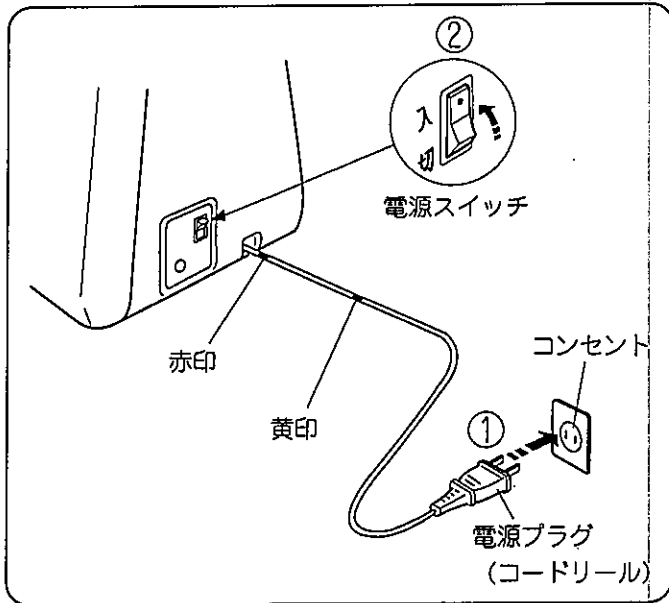
●標準付属品と収納場所



●操作方法

◎電源のつなぎ方

★スタート・ストップボタンを使用する場合



- ① 電源スイッチを「切」にして、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- ② スイッチを「入」にします。

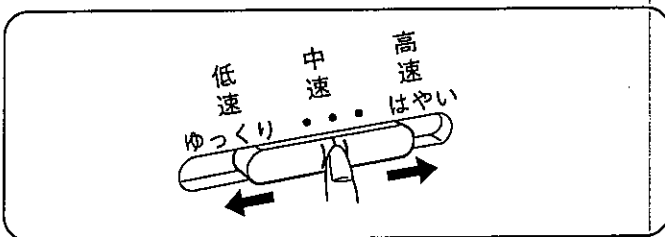
※ コードを引き出した時に黄印が出てきたらゆっくり引いてください。また、赤印以上は引き出さないでください。

※ 電源は一般家庭用（100V 50/60Hz）です。

※ ミシンを使わないときは、電源プラグを抜いてください。

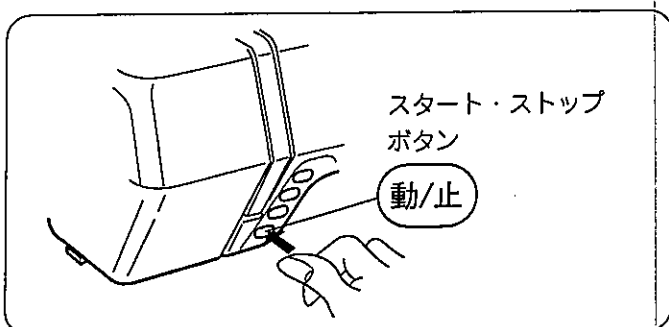
◎速さの調節の仕方

★スピードコントロールつまみ

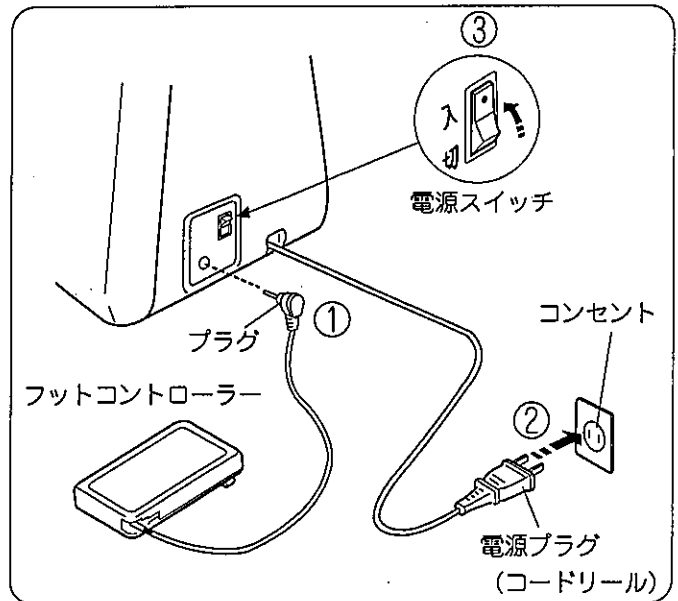


ぬう速さは自由にセットできますので、スピードコントロールつまみをお好みの速さにセットしてください。

◎スタート・ストップボタン

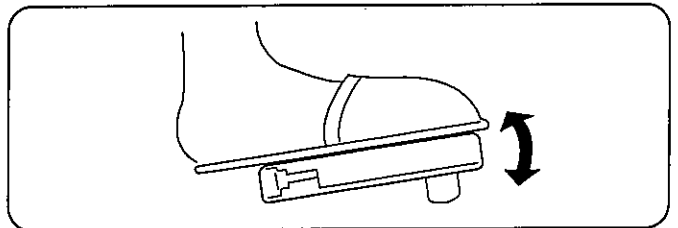


★フットコントローラー(別売品)を使用する場合



- ① 電源スイッチを「切」にして、プラグをプラグ受けに差し込みます。
- ② 電源プラグを引き出し、コンセントに差し込みます。
- ③ 電源スイッチを「入」にします。

★フットコントローラー(別売品)

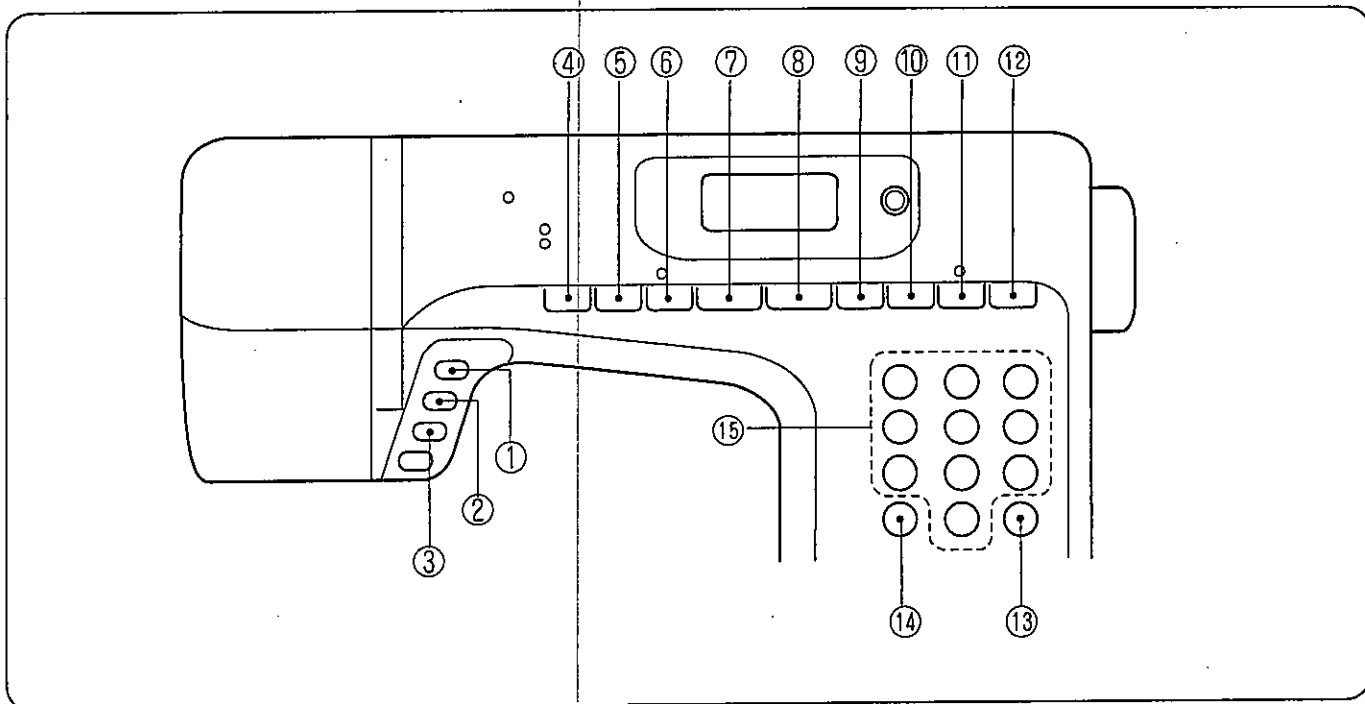


フットコントローラーは、深くふみ込むほど速くなります。

※スピードコントロールつまみは、「はやい」にセットしてください。

ボタンを押すと、ミシンは数針ゆっくりとぬってから、スピードコントロールつまみでセットした速さでぬい始めます。もう一度押すと、針が上の位置で止まります。

◎キーの主なはたらき



①上下停針ボタン



ミシンが止まっているときボタンを押すと、針が上位置から下位置に切り変わります。もう一度押すと、上位置に切り変わります。

②止めぬいボタン



もよう は、ボタンを押すと数針止めぬいをして自動的に止まります。他のもようぬいときは、もようを最後までぬい止めぬいをして自動的に止まります。

③返しぬいボタン

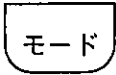


もよう は、ボタンを押している間は返しぬいをします。その他のもようのときにはボタンを押すとすぐに止めぬいをして自動的に止まります。

④モード切り換えキー

※ダイレクト
○選択モード

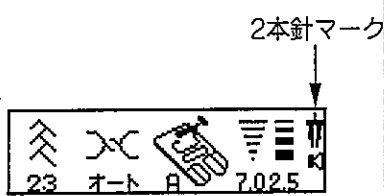
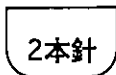
○ダイレクト
※選択モード



キーを押すごとに、LED点灯が切り換わり、各モードの選択ができます。

ダイレクト：直接キーを押してもよう選択
選択モード：テンキー入力によるもよう選択

⑤2本針キー



2本針ぬいを行うときに押します。

※2本針マークが表示されます。

解除するときには、もう一度キーを押します。

⑥編集キー



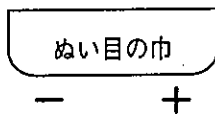
記憶したもようの確認及び、もようの追加、削除などを行うときに押します。

※操作は、ぬい目の巾「+」または「-」キーで行います。(57～58ページをごらんください。)

【プログラムもようの巾、あらか設定機能】
プログラムされた個々のもように関してぬい目のあらかや、巾を変えることができます。

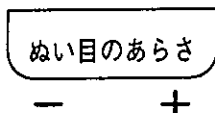
(59ページをごらんください。)

⑦ぬい目の巾キー



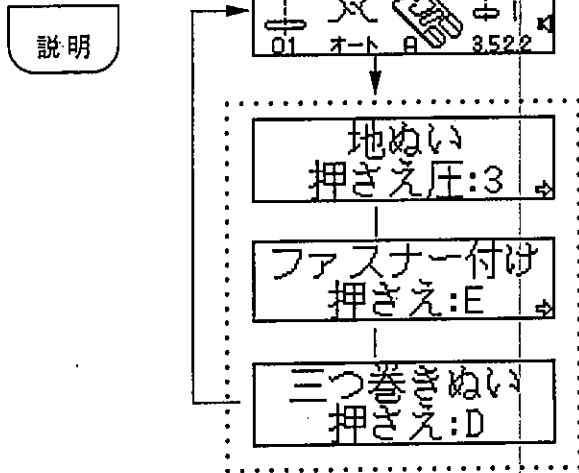
ぬい目の巾を変えるときに「-」キーまたは、「+」キーを押します。

⑧ぬい目のあらかキー



ぬい目のあらかを変えるときに「-」キーまたは、「+」キーを押します。

⑨説明キー

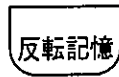


ぬい情報が表示されます。

※「説明」キーを押すごとに、画面が切り換わります。

※説明内容は、もように適した押さえや、押さえ圧が表示されます。

⑩反転記憶キー



もようを選んでからキーを押すと、選んだもようを左右反対に記憶します。

⑪もようのがさキー

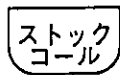


キーを押すごとに、もよう#31~41の長さを1~5倍に変えられます。



⑫ストック(登録)

コール(呼び出し) キー



もようを記憶した後、または、編集した後にストック/コールキーを押すと、はじめに登録したもようは取り消され、新規にもようが登録されます。

それ以外 (もようを記憶していない) のときに、ストック/コールキーを押すと登録したもようを呼び出すことができます。

※最大50もようまでのプログラムぬいが登録できます。但し、ダイレクトモードのときと、記憶キー (10ページ⑭) で記憶できないもようは、登録できません。

※登録したもようは、新規に登録するまで永久保存されます。

⑬とりけしキー



とりけし

もようを記憶させているときに、まちがえて選んだもようを記憶させたとき、とりけしキーを押すとそのもようだけがとりけされます。記憶させて、ぬいはじめてからとりけしキーを押すと、記憶させたもようすべてがとりけされます。

⑭記憶キー

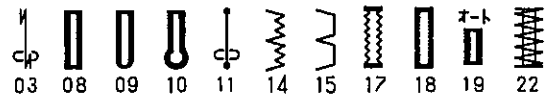


記憶

もようを選んでからキーを押すと、キーを押した数だけそのもようを記憶します。さらに、他のもようを選んでからキーを押すと、前のもように続けて、次に選んだもようを記憶します。

(最大記憶数は50です。)

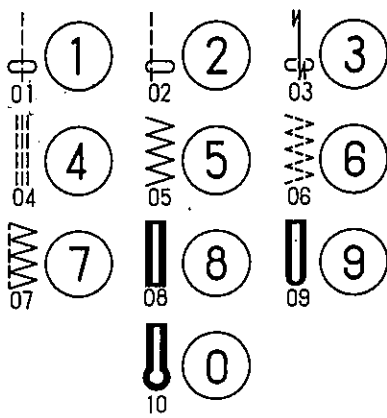
※記憶できないもようは、



です。

※ダイレクトモードのときには、記憶できません。

⑮ダイレクト選択及びテンキー



【ダイレクト選択】

モードキーがダイレクトのとき、もよう#01~10は、直接押して選べます。

※選択モードのときには、もよう#01~10はもよう番号を入力して選びます。

【テンキー】

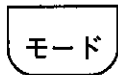
ダイレクトモード以外のもようを選ぶときには、もよう番号を入力して選びます。

◎もようの選び方

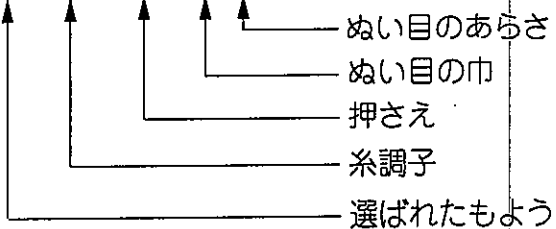
【ダイレクト選択のとき】

① モードをダイレクトにします。

※ダイレクト
○ 選択モード



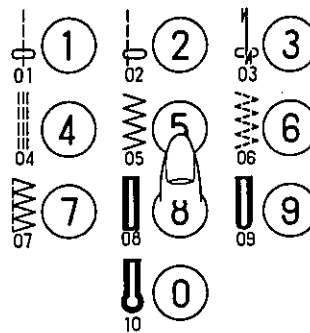
③ もよう#05が表示されます。



※押さえ表示は、もように合った基本的な押さえとなっていますが、同じもようでもめい方により使用する押さえが異なる場合があります。「いろいろな実用めい」の項目で確認してください。

② もようの横のテンキーを押します。

例) もよう#05

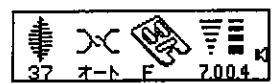
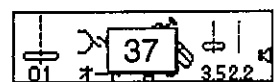
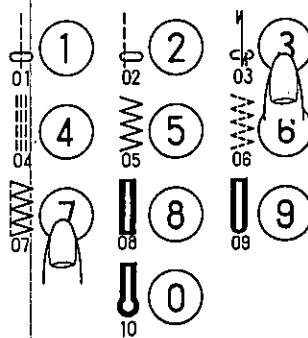


ブザー音: 表示されているときは、ブザー音がします。
(ブザー音の消し方は、12ページをごらんください。)

【テンキーで選ぶとき】

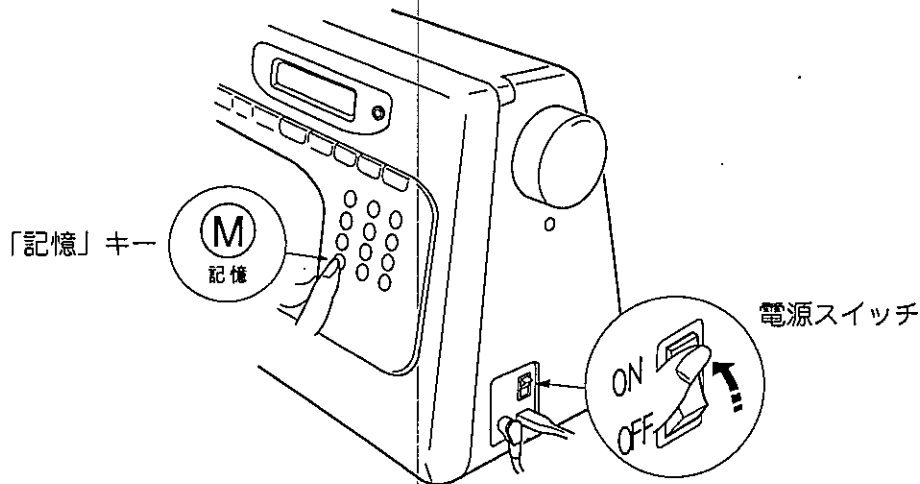
① モードを選択モードにします。 ② テンキーを押します。 ③ もよう#37が表示されます。

○ダイレクト
※選択モード



◎お好み記憶モード/ブザー音/多国語設定方法

① 「記憶」キーを押しながら、電源スイッチを「入」にします。



【お好み記憶モード設定】
電源を切っても、最後にぬったもようを呼び出すことができます。

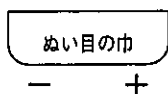


② テンキー「1」でお好み記憶モードを選びます。



お好み記憶解除
お好み記憶セット

③ 選択画面が表示されますので「ぬい目の巾」キーでモードを選びます。

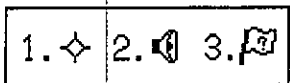


④ 「記憶」キーを押すと設定されます。



お好みモード設定マーク

【ブザー音設定】
お好みにより、ブザー音を消すこともできます。

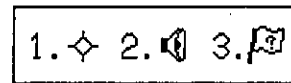


※テンキー「2」を押すと、ブザー音設定になります。



ブザー音セット
ブザー音解除

【多国語設定】
10カ国の言語が設定できます。



※テンキー「3」を押すと、多国語設定になります。



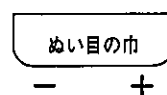
1. ENGLISH
2. ESPANOL

3. FRANCAIS
4. DEUTSCH

5. NEDERLANDS
6. ITALIANO

7. PORTUGUES
8. SWEDISH

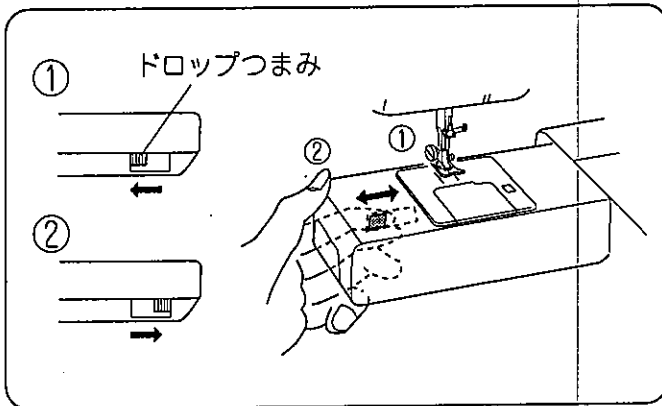
9. РУССКИЙ ЯЗЫК
10. 日本語



- 1. 英語
- 2. スペイン語
- 3. フランス語
- 4. ドイツ語
- 5. オランダ語
- 6. イタリア語
- 7. ポルトガル語
- 8. スウェーデン語
- 9. ロシア語
- 10. 日本語

※お好み記憶をセットすると、つぎからは電源投入時最後にぬっていたもようが表示されますが、登録したもようの場合は、呼び出しキーで呼び出します。
※マークは、設定したときのみ表示されます。

◎ドロップつまみの使い方

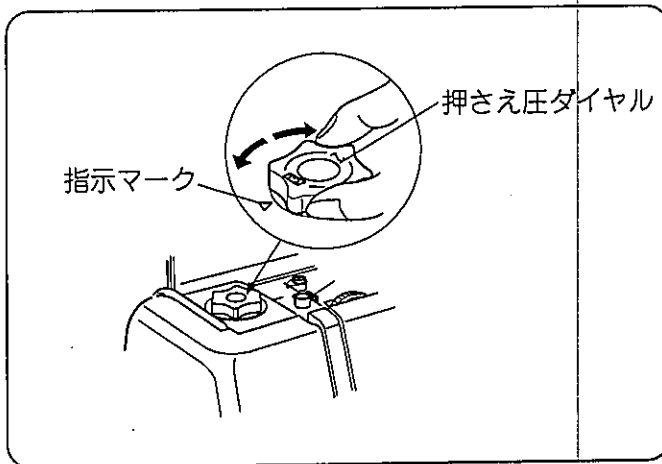


ボタンつけなどで送り歯をさげるときには、ドロップつまみを動かします。

①送り歯をさげた位置

②送り歯をあげた位置

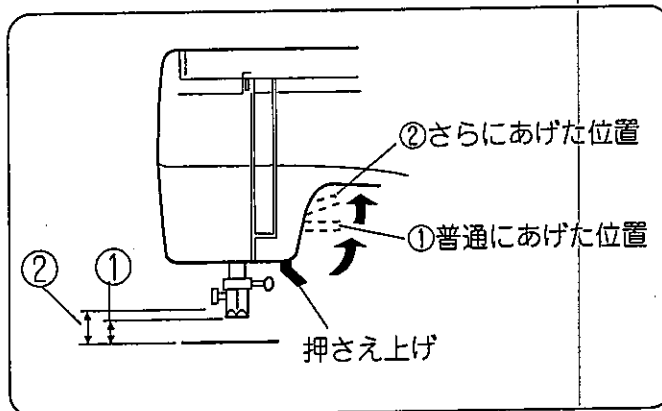
◎押さえ圧ダイヤル



普通ぬいときは、「3」。

うす手の化繊地や伸縮性のある布地などでぬいずれがあるとき、またはぬいしろ部分が重なりあうときは「2」または「1」。

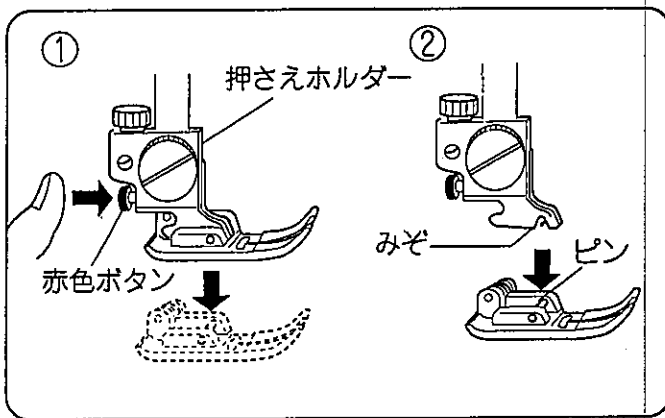
◎押さえ上げ



押さえ上げで、押さえの上げ下げをします。

押さえ上げを普通にあげた位置より、さらに高くあげると、押さえはさらにあがります。

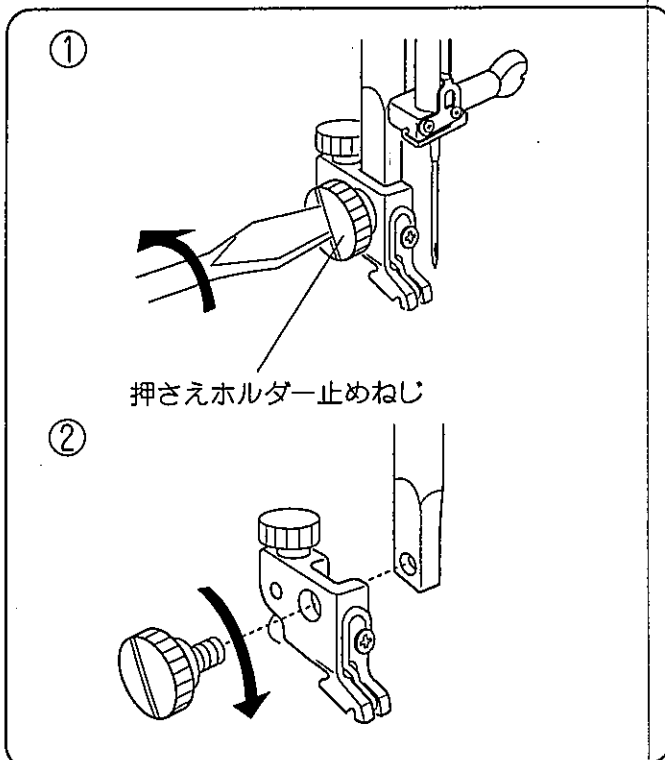
◎押さえのとりかえ方



① 押さえ上げをあげ、押さえホルダーの赤色ボタンを押して、押さえをはずします。

② 押さえのピンを押さえホルダーのみぞにあわせて、押さえ上げを静かにさげます。

◎押さえホルダーのはずし方、つけ方

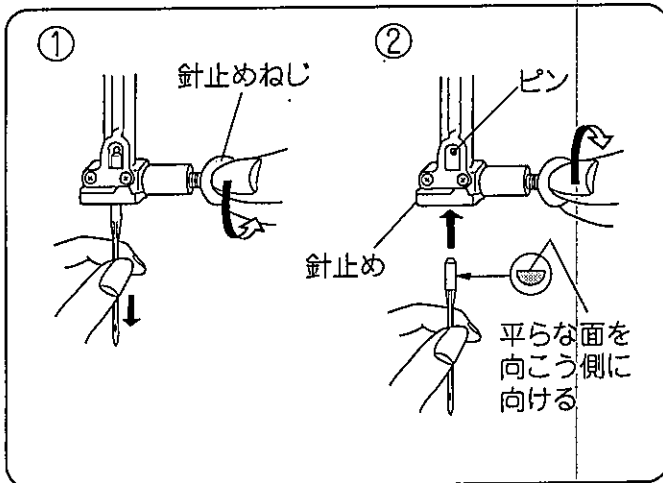


① 押さえホルダー止めねじを左にまわしてはずします。

② 押さえホルダー止めねじを右にまわしてつけます。

◎針のとりあつかい

★針のとりかえ方

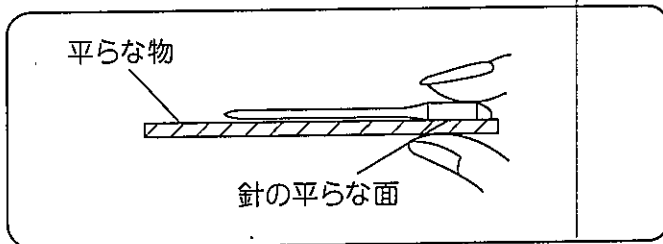


針のとりかえは、必ず電源スイッチを切ってから行ってください。

①針止めねじを手前に1~2回まわしてゆるめ、針をはずします。

②針の平らな面を向こう側に向けて、ピンにあたるまで差し込み、針止めねじをかたくしめます。

★針のしらべ方



針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すき間が針先まで平均に見えるのが良い針です。
針先が曲がったり、つぶれているものは使わないようにしてください。

★布に適した糸や針を選ぶ目安

布		糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット ウール・化繊布	絹糸 80番~100番	9番~11番
		綿糸 80番~100番	
		化繊糸 80番~100番	
普通の布	普通木綿・化繊布 薄手ジャージー 一般ウール・化繊服地	絹糸 50番	11番~14番
		綿糸 60番~80番 化繊糸 50番~80番	
		綿糸 50番	14番
厚い布	デニム ジャージー コート地 キルティング	絹糸 50番	14番~16番
		綿糸 40番~50番 化繊糸 40番~50番	
		絹糸 30番 綿糸 30番	

※一般に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。

この表を目安に針と糸を選び、ぬいたい布のはぎれを使って試しぬいをしてください。

※原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※伸縮性のある布地（ジャージー、トリコット）や目とびしやすい布地などには、ジャンメ

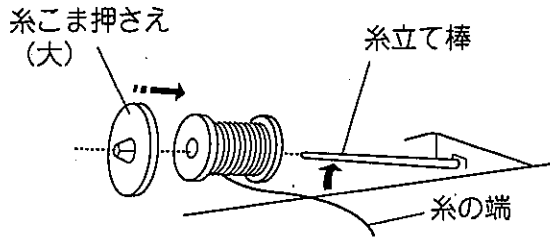
ブルー針を使用すると効果があります。

（市販SP針も同様の効果があります。）

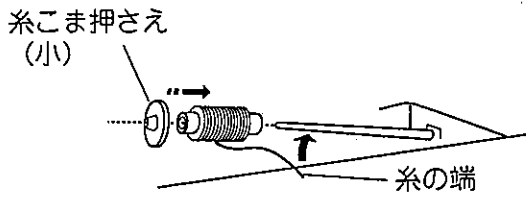
◎下糸の準備

★糸こまのとりつけ

〈普通の糸こまのとき〉



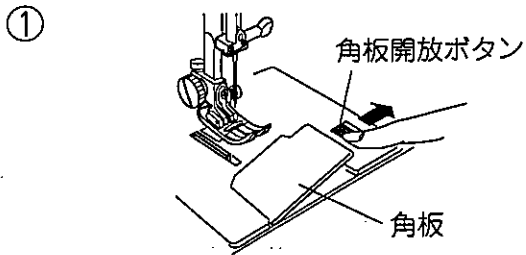
〈小さい糸こまのとき〉



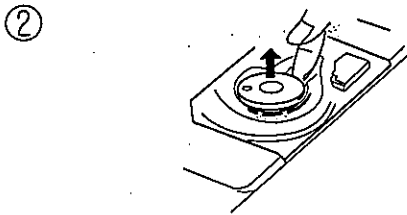
糸立て棒を軽くおこし、糸の端が下から手前に出るようにして糸こまを入れ、糸こま押さえで糸こまをおさえます。

※糸こま押さえ (小) は小さい糸こまに使用します。

★ボピンのとりだし

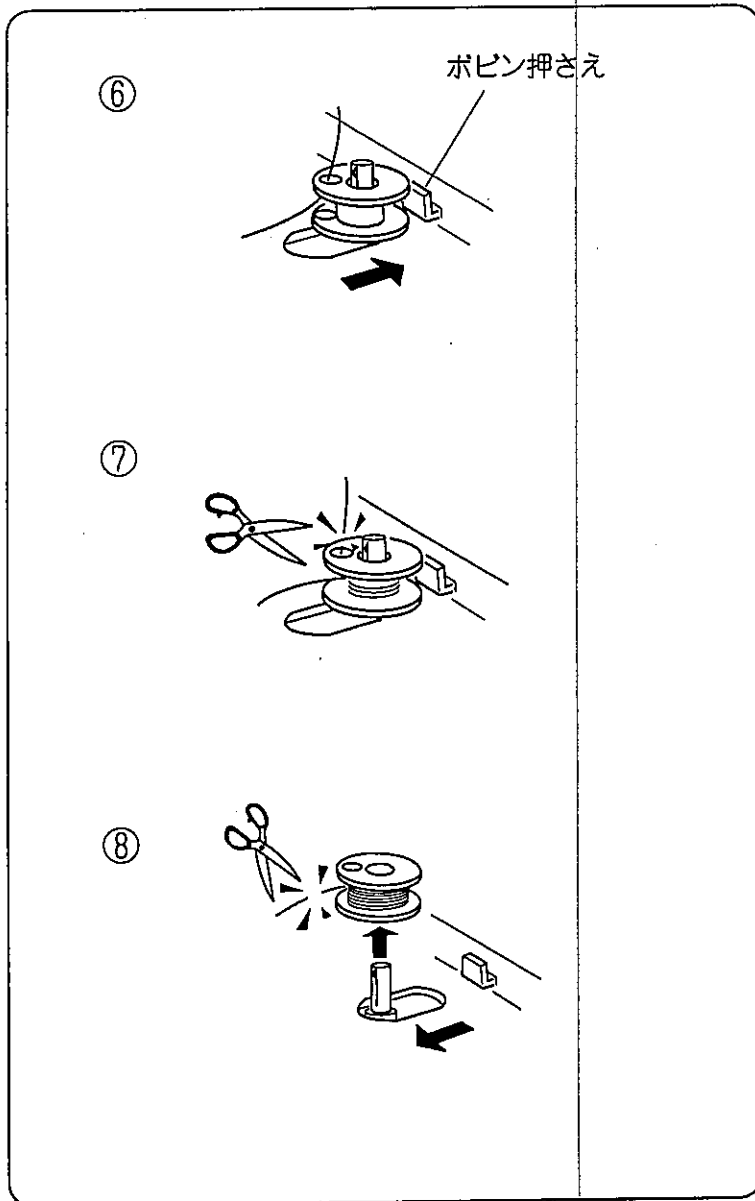
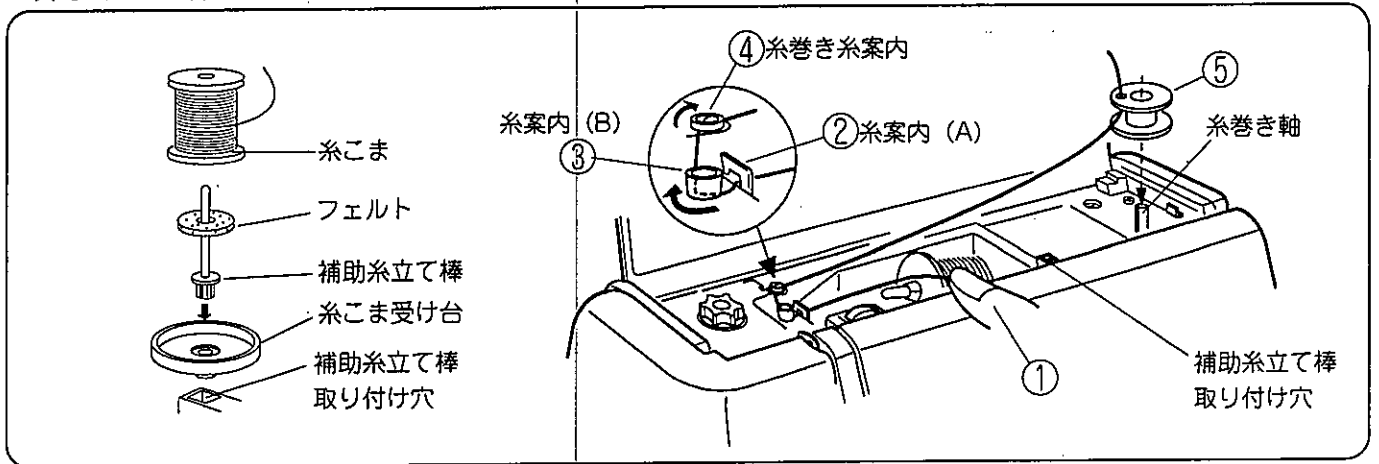


①角板開放ボタンを右にずらして角板をはずします。



②ボピンをとり出します。

★ポピンに糸をまく



糸巻きのときは、スピードコントロールつまみを「中速～高速」の間でご利用ください。

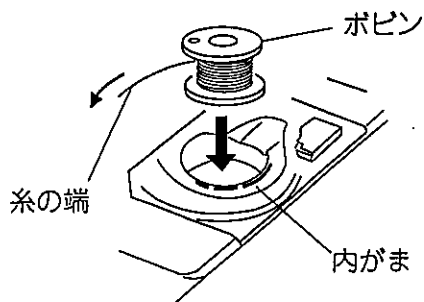
- ① 糸を軽く押さえます。
- ② 糸案内 (A) に、糸を通します。
- ③ 糸案内 (B) に、糸をかけます。
- ④ 糸巻き糸案内に、糸をかけます。
- ⑤ ポピンの穴に内側から糸を通し、糸巻き軸に差し込みます。
- ⑥ ポピンをポピン押さえの方に押しつけます。
- ⑦ 糸の端をつまんだままミシンをスタートして、ポピンに糸が二重ほどまきついたら、ミシンを止めて、つまんでいる糸を切ります。
- ⑧ 再びスタートして、まき終わったらミシンを止めます。糸を切って糸巻き軸をもどし、ポピンを糸巻き軸からはずします。

※糸巻き軸は、必ずミシンを止めてから動かしてください。

※補助糸立て棒での利用も出来ます。補助糸立て棒を使うときは、取り付け穴にセットします。糸の端は向こう側から出るようにします。

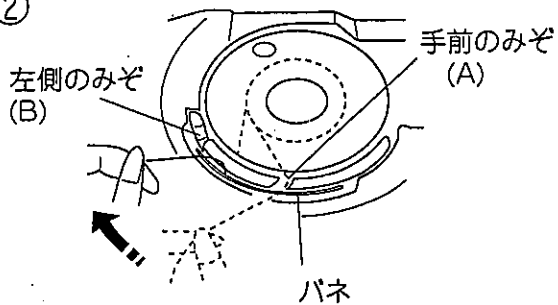
★ポビンのセット

①



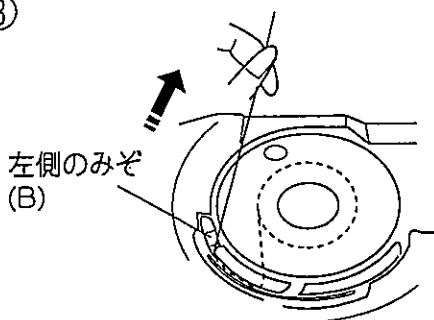
① 糸の端を矢印方向に出し、ポビンを内がまに入れます。

②



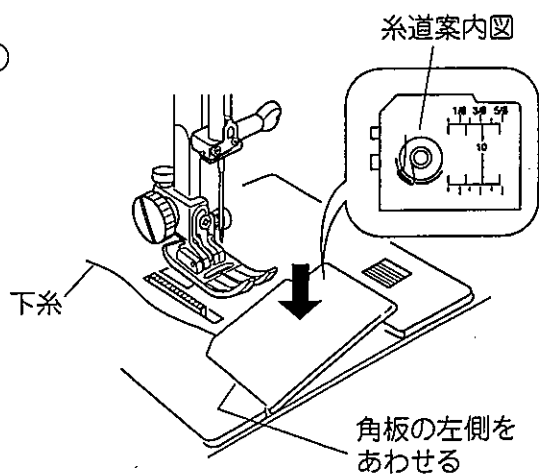
② 糸の端を引きながら、手前のみぞ(A)にかけます。糸を引きながら左へ移動させ、みぞの外とバネの間を通して、左側のみぞ(B)のところに出示します。

③



③ 糸を左側のみぞ(B)にかけるように向こう側に出します。

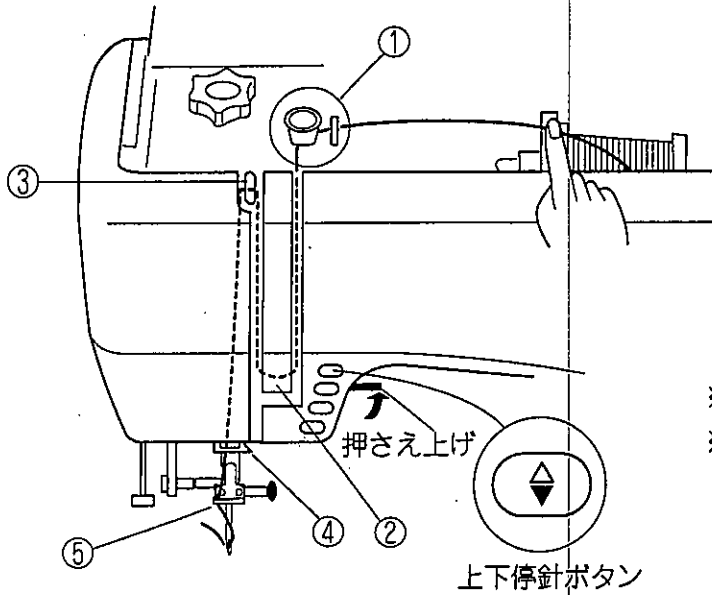
④



④ 下糸は10cmくらい引き出して、角板を左側からあわせてつけます。

◎上糸のとりつけ

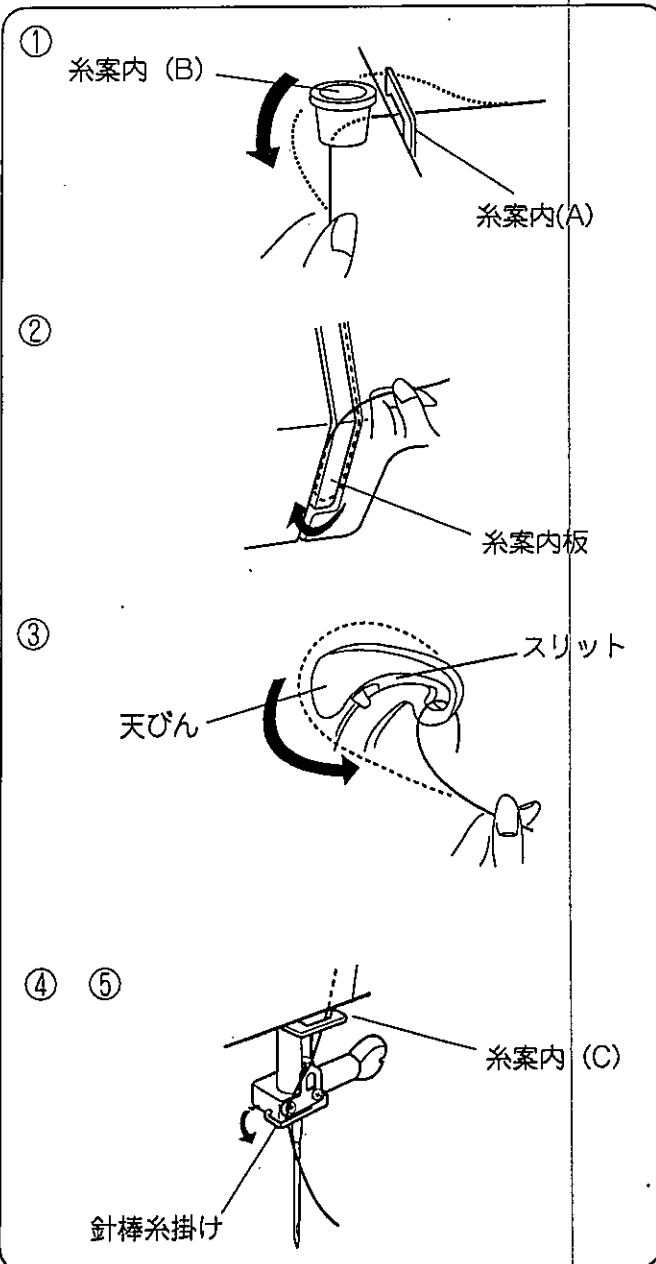
★上糸をかける



※押さえ上げをあげます。

※電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを2回押して、針をあげます。

針をあげたら電源スイッチを切ります。



① 押さえ上げをあげ、糸こまから糸を引き出し、糸こまを軽く押えながら糸案内(A)に通し、糸案内(B)の下にまきつけるようにしてかけ、糸案内板にそっておろします。

② 糸案内板の下をまわして、左上に引きあげます。

③ 天びんの右から後へまわしスリットに入れ、穴先まで引き入れて、まっすぐ下におろします。

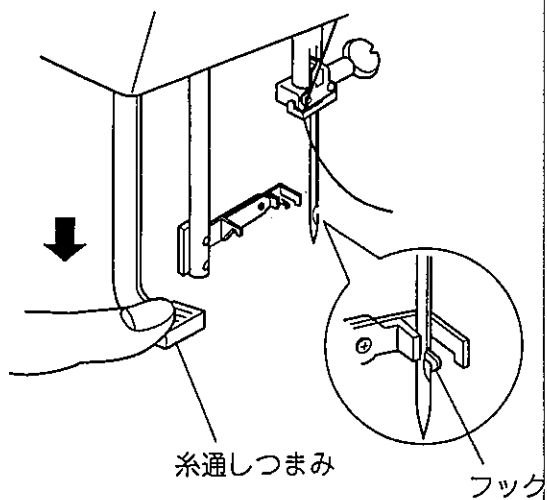
④ 糸案内(C)に右からかけます。

⑤ 針棒糸掛けに左からかけます。

※針には糸通しを使って糸を通します。
糸通しの使い方は20ページをごらんください。

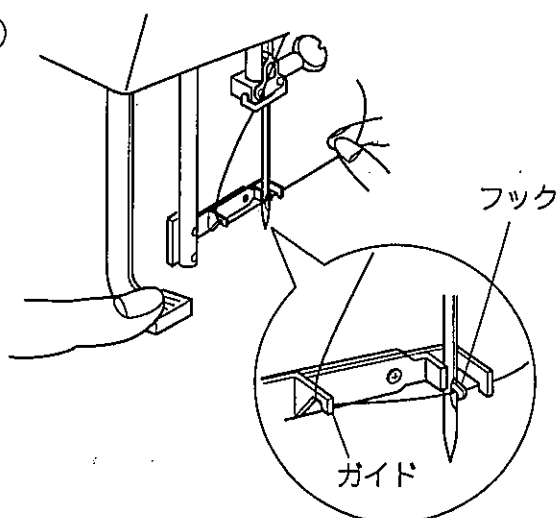
★糸通しの使い方

①



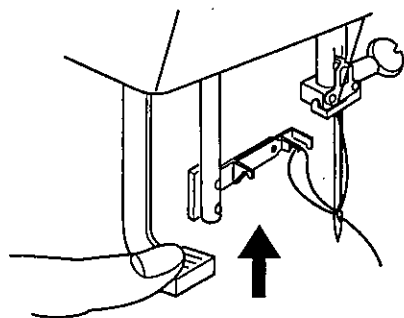
① 針と天びんを一番上にあげて、糸通しつまみを止まるまでいっぱい引きさげます。フックが針穴に入ります。

②



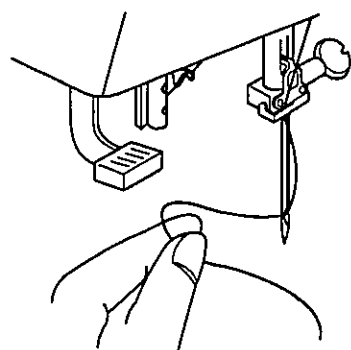
② 糸をガイドとフックにかけます。

③



③ 糸の端を軽く持ち、糸通しつまみを静かにはなすと、糸の輪が引きあげられます。

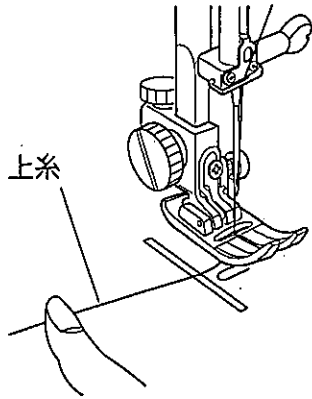
④



④ 糸の輪を糸通しからはずし、針穴から端を引き出します。

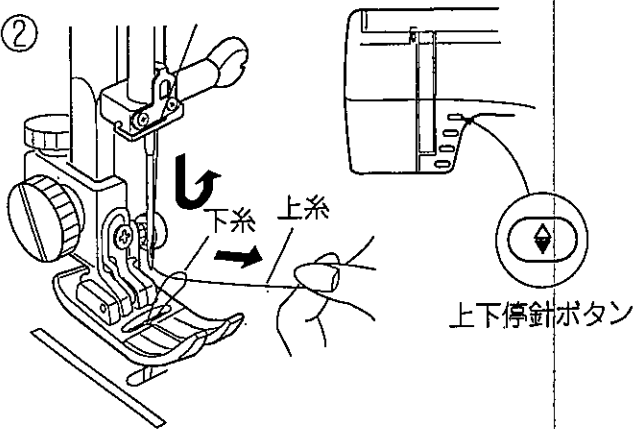
★下糸の引き上げ

①



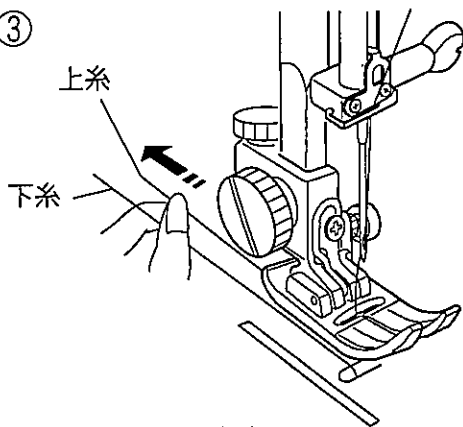
① 押さえをあげ、糸の端を指で押さえておきます。

②



② 上下停針ボタンを2度押し、針をあげます。上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。

③

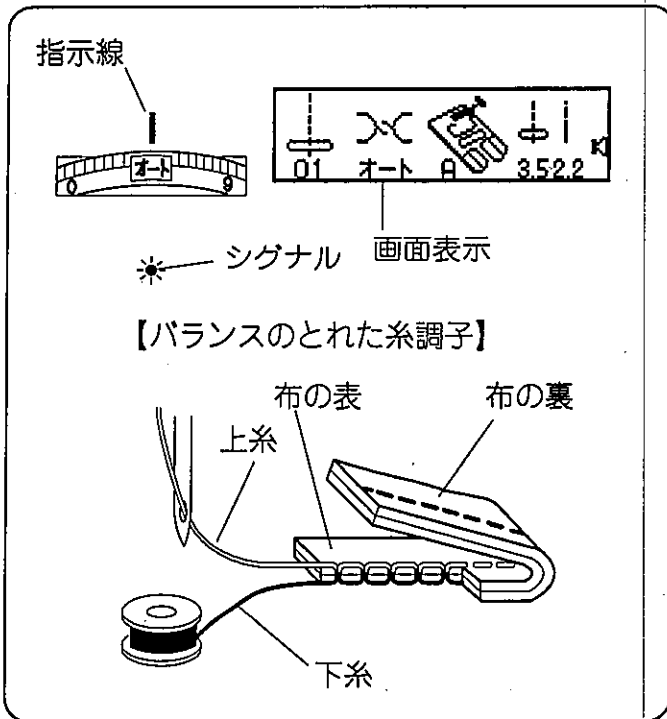


③ 上糸・下糸を押さえの下にして、後へそろえて出します。

約10cm引き出します。

◎糸調子のお合わせ方

★自動糸調子



このミシンは、指示線に糸調子ダイヤルの「オート」をあわせると、シグナルが点灯し、普通ぬいどきにバランスよくぬえる糸調子に自動セットされます。

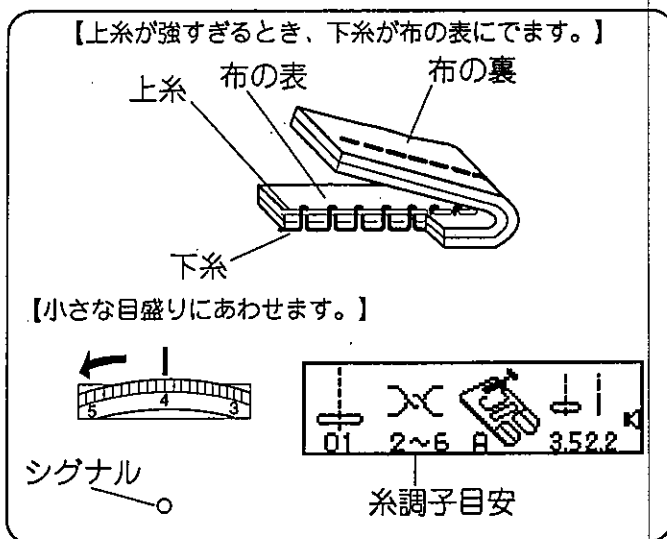
画面表示は（オート）が表示されます。

※特殊なぬい方をする模様の中には、画面にマニュアル糸調子の数値が表示されシグナルが点滅しますので、糸調子ダイヤルをマニュアル糸調子の数値にセットしてください。

直線ぬいどきのときは、上糸と下糸が布のほぼ中央で交わります。

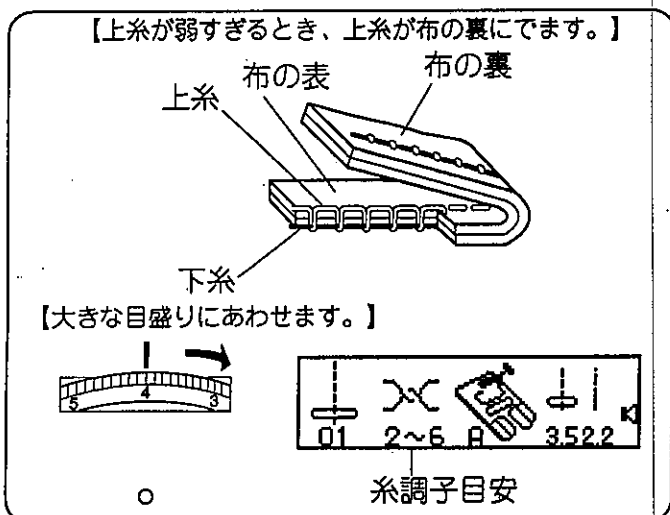
シグザグぬいどきのときは、布の裏側に上糸が少し出るくらいになります。

★マニュアル糸調子

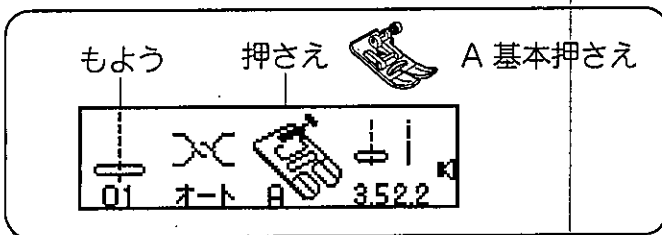


糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれないときは、糸調子ダイヤルを「0~9」にあわせると、シグナルは消灯し、マニュアル糸調子となり、上糸と下糸の交わる位置を自由に調節できます。

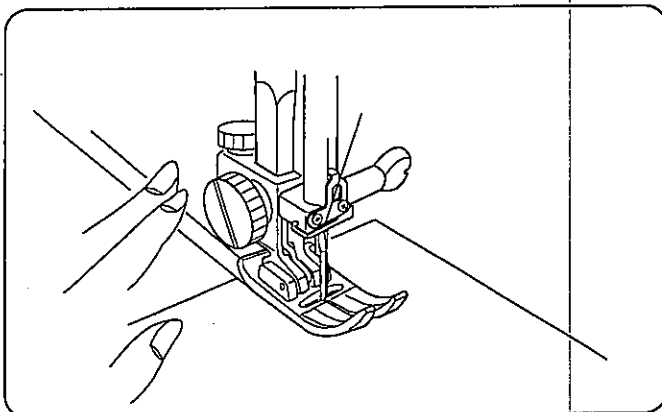
画面表示は、一般的なぬいどきの糸調子目安が表示されます。



◎直線ぬい



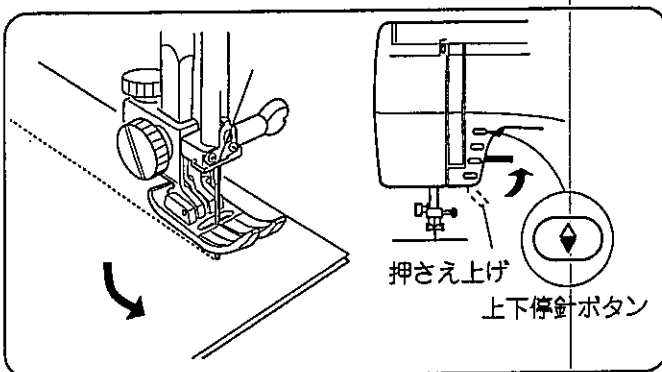
★ぬい始め



糸と布を左手でおさえ、はずみ車を手前にまわして、ぬい始めの位置に針をさします。
押さえ上げをさげて、ゆっくりぬい始めます。

※ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押しながら返しぬいする方法と、自動返しぬいのついたもよう#03を使う方法があります。
(26ページをごらんください。)

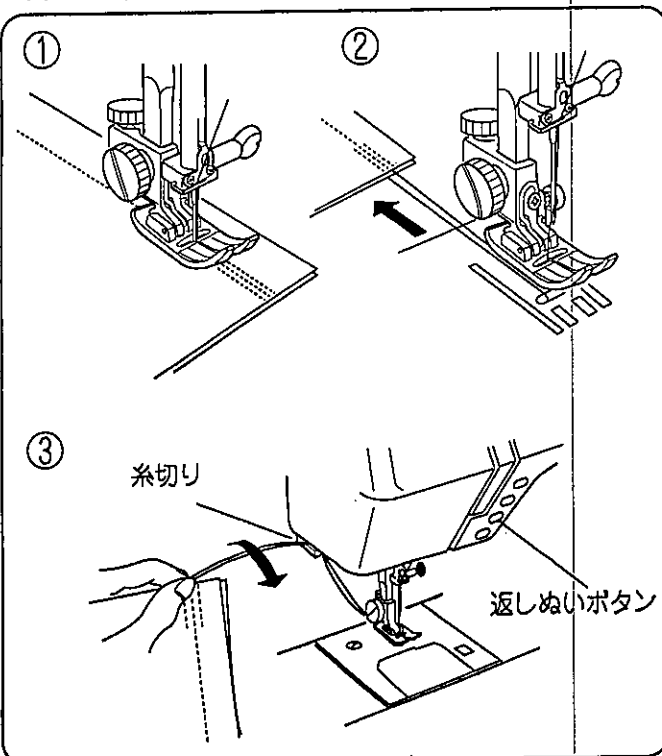
★ぬい方向の変更



ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさし、押さえ上げをあげます。針を布にさしたまま、ぬい方向を変えます。

押さえ上げをさげて、ふたたびぬい始めます。
※コーナリングガイドを使って、ぬい方向を変えることもできます。(24ページをごらんください。)

★ぬい終わり



【返しぬい】

①返しぬいボタンを押しながら数針返しぬいをします。
※もよう#03のときは、返しぬいボタンを一度押すだけで自動的に返しぬいをします。

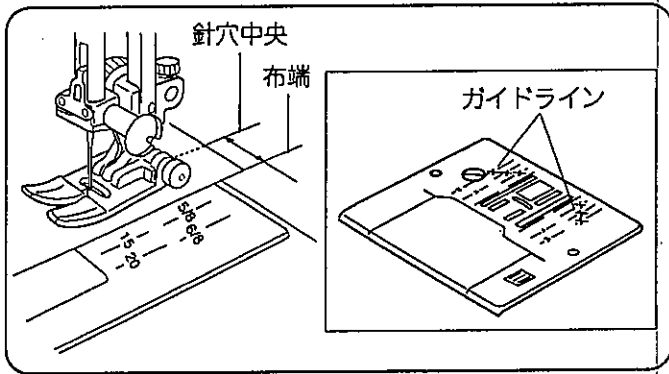
【布の引き出し方】

②押さえ上げをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。

【糸切り】

③布を手前に返すようにして、糸切りで糸を切ります。

◎針板ガイドラインの利用

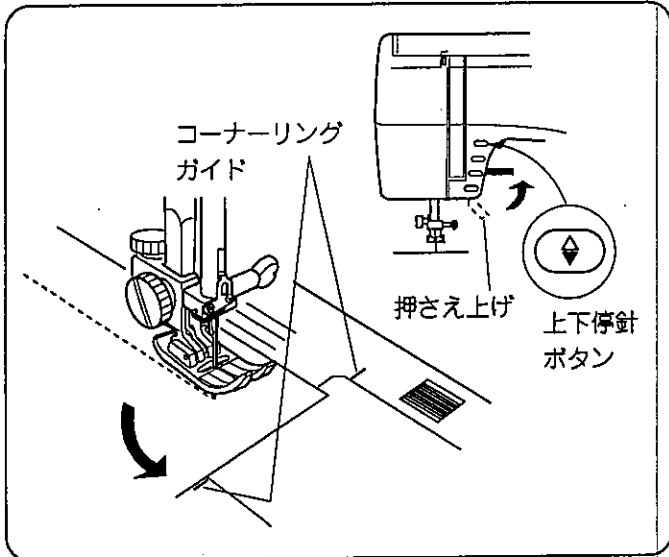


布端を針板ガイドラインにあわせてぬいます。

数字	15	20	4/8	5/8	6/8
間かく(cm)	1.5	2.0	1.3	1.6	1.9

※数字は針穴中央からガイドラインまでの距離です。

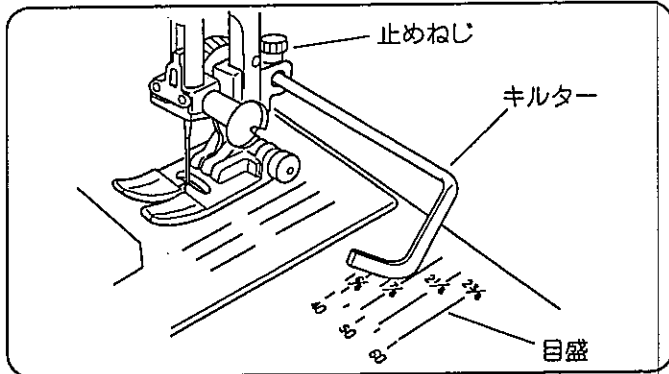
◎コーナーリングガイドの利用



布端から1.6cmのところまで直角にぬい方向を変えるとき…

- ①布端がコーナーリングガイドのところきたらミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を布にさします。
- ②押さえ上げをあげ、布を回転させてガイドラインの1.6cm (5/8) にあわせませす。
- ③押さえ上げを下げ、ミシンをスタートします。

◎キルターガイドの利用

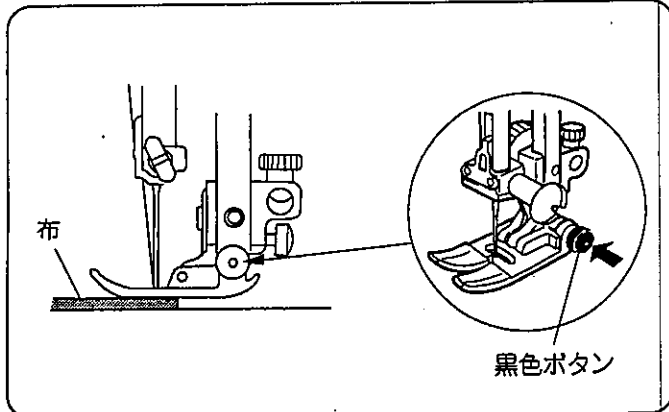


キルティングのぬい目間かくを決めるときを目盛です。

止めねじをゆるめ、キルターを目盛に合わせて、止めねじをしめます。

ぬい方は、キルティング45ページをごらんください。

◎厚手の布のぬい始め方



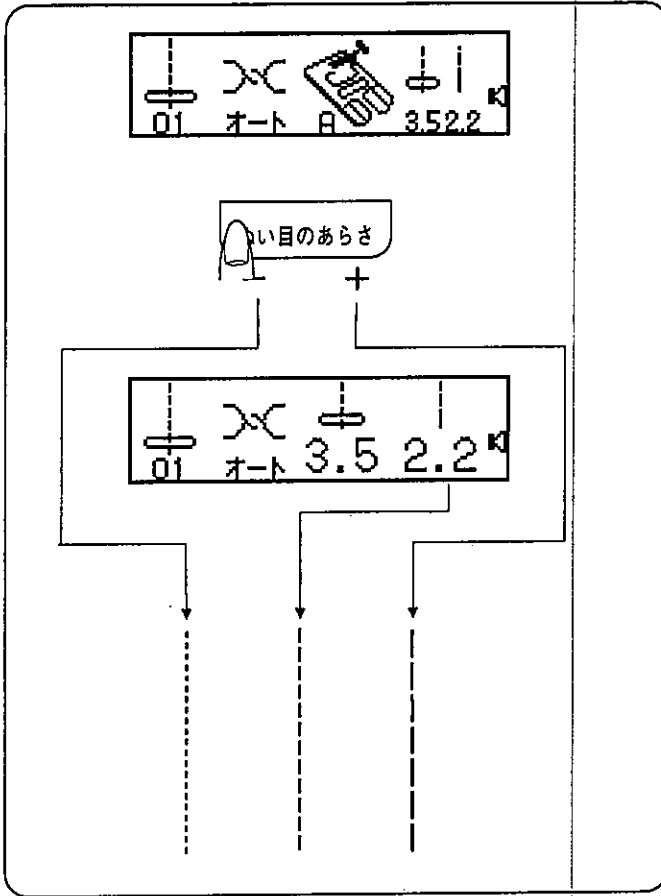
- ①ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえの黒色ボタンを押し込みます。

- ②ボタンを押したままで押さえ上げを下げます。

- ③ボタンから手をはなし、ぬい始めます。

※端ぬいときには、もよう#02を選びます。

◎ぬい目のあらしをかえるとき



ぬい目あらしキーを押すと、自動セットの数値2.2が表示されます。

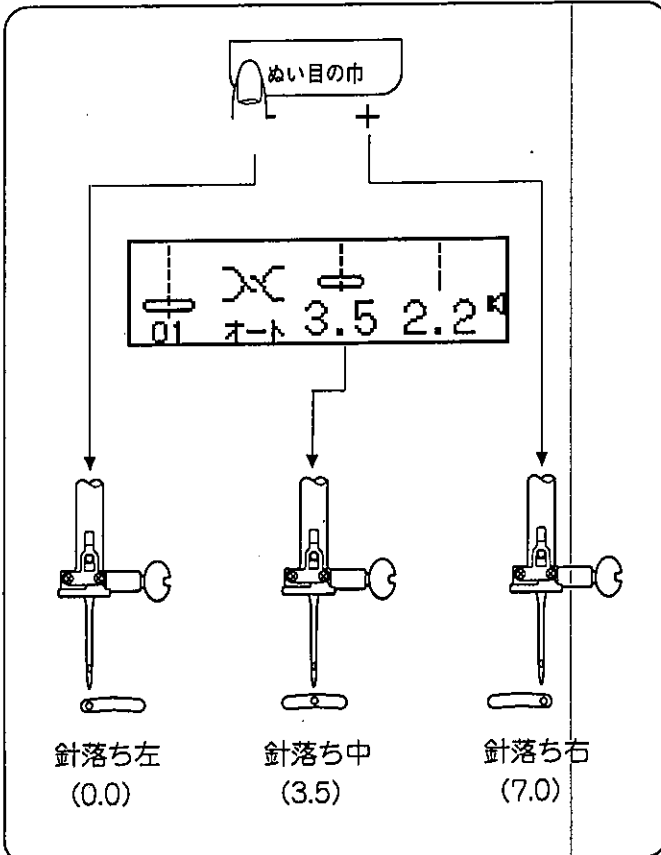
※0~5の範囲で変えることができます。

①「-」キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目が細かくなります。

②「+」キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目があらかくなります。

※返しぬいのぬい目あらしは、0.25cm以上にはなりません。

◎直線ぬいの針落ち位置をかえるとき



ぬい目の巾キーを押して、針落ち位置を変えます。

①「-」キーを押すと針が左へ移動します。

②「+」キーを押すと針が右へ移動します。

※もよう



は針落ち位置をかえることができるもようです。

※針落ち位置をかえるときは、針を布からあげてください。

●いろいろな実用ぬい

◎直線状のぬい目いろいろ

【地ぬい】

もよう 押さえ

01 オート 日 3.52.2 針

A基本押さえ
または、
Eファスナー押さえ

もよう 押さえ

02 オート 日 0.02.2 針

A基本押さえ

地ぬいやファスナーつけに使用します。

端ぬいに使用します。

【自動返しぬい】

もよう 押さえ

03 オート 日 3.52.2 針

A基本押さえ

しっかりしたほつれ止めを自動的にを行うときに使用します。(ぬいおわりにきたら、返しぬいボタン(↺)を一度押します。数針返しぬいをして自動的に止まります。)

【三重ぬい】

もよう 押さえ

04 オート 日 3.52.5 針

A基本押さえ

伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに便利です。

【自動止めぬい】

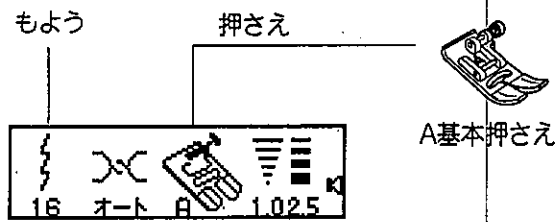
もよう 押さえ

11 オート 日 3.52.2 針

A基本押さえ

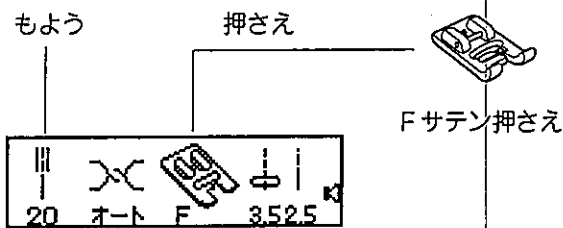
目立たない止めぬいを自動的にを行うときに使用します。(ぬいおわりにきたら、返しぬいボタン(↺)を一度押します。数針止めぬいをして自動的に止まります。)

【伸縮ぬい】



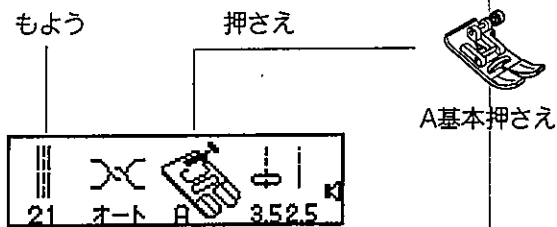
布が伸びても、糸が切れにくい伸縮性のあるぬい目です。

【飾りぬい】



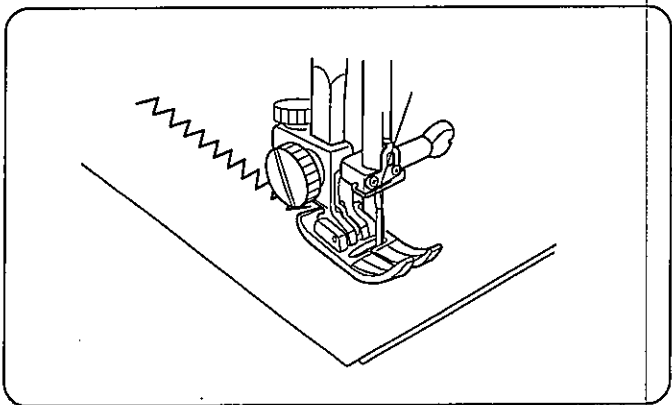
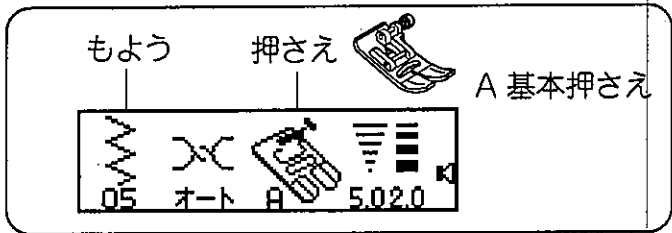
飾りぬいや、キルティングなどに利用します。

【サドルステッチ】



ぬい目のあらい三重ぬいです。飾りぬいや刺し子風にも使えます。

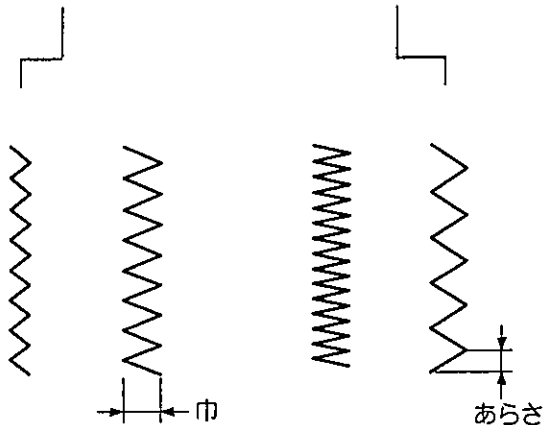
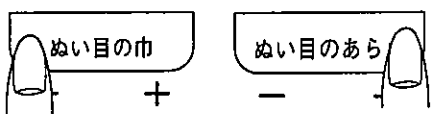
◎ジグザグぬい



伸縮性のある布（ニット、ジャージー、トリコットなど）には接着芯を貼るとききれいにぬえます。

※ぬい目の巾を調節するときは、針を布からあげてください。

【ぬい目の巾・あらかさを変えるとき】



巾がせまくなります。
巾が広がります。

ぬい目が細くなります。
ぬい目があらかくなります。

ぬい目の巾キーを押すと、自動セットの数値5.0が表示されます。

※0~7.0の範囲で変えることができます。

(ぬい目の巾を変えるとき)

「-」キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目の巾は、せまくなります。

「+」キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目の巾は、広がります。

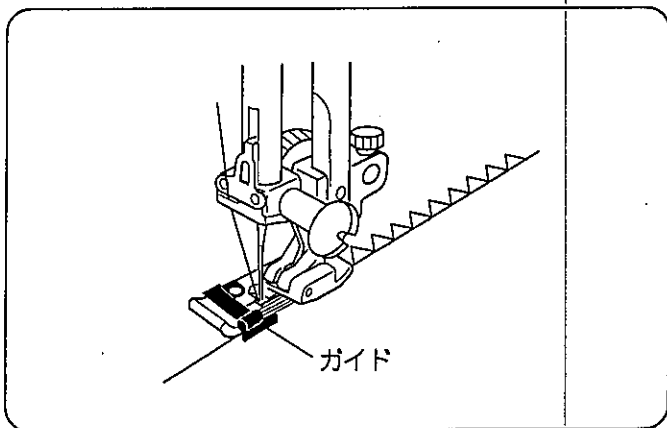
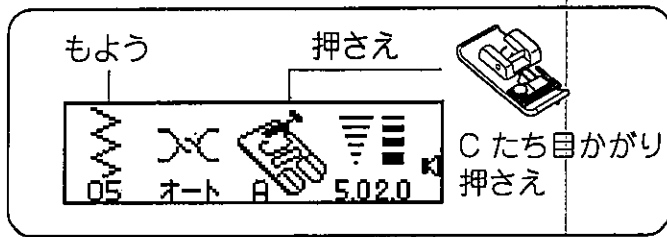
(ぬい目のあらかさをかえるとき)

「-」キーを押すと、表示される数値が小さくなり、ぬい目のあらかさは、細くなります。

「+」キーを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目のあらかさは、あらかくなります。

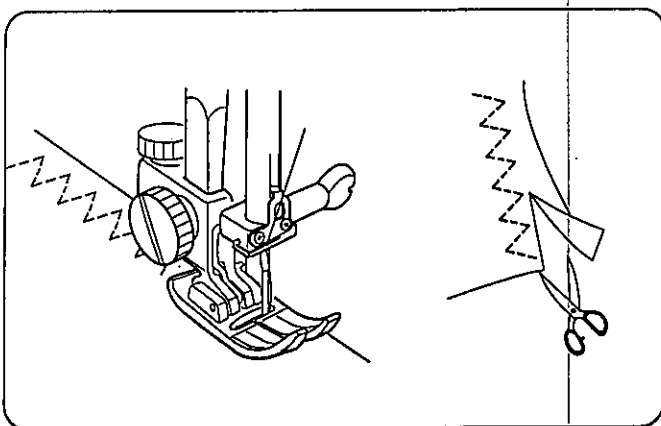
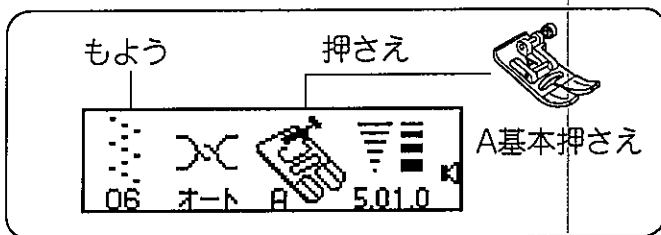
※返しぬいのぬい目あらかさは、0.25cm以上にはなりません。

◎ジグザグぬいたち目かがり



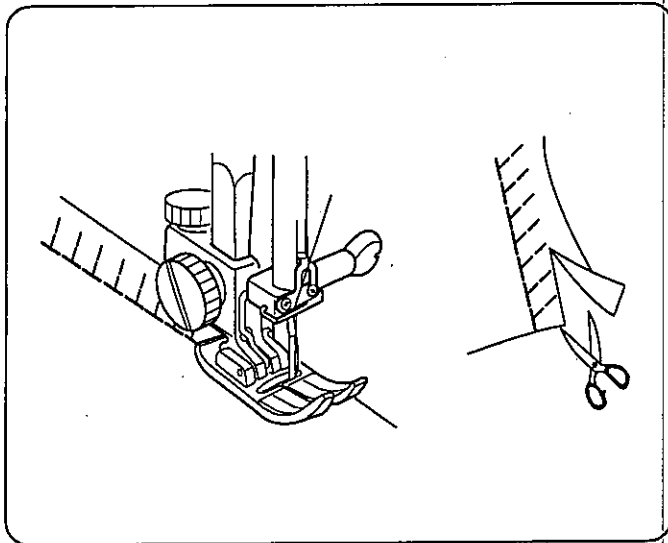
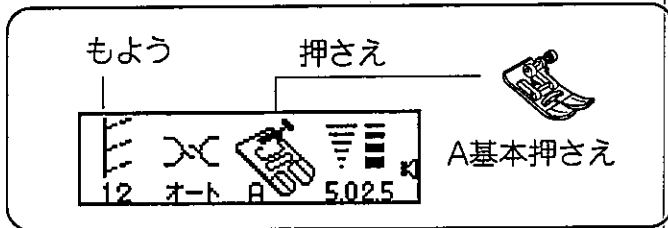
布端のほつれ止めとして広く利用します。
布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬ
います。

◎トリコットぬいたち目かがり



ほつれやすい布や伸縮性のある布のほつれ止め、
布端の返り防止などに利用します。
ぬいしろを少し多めにとってぬい、余分なところ
をぬい目近くで切り落とします。

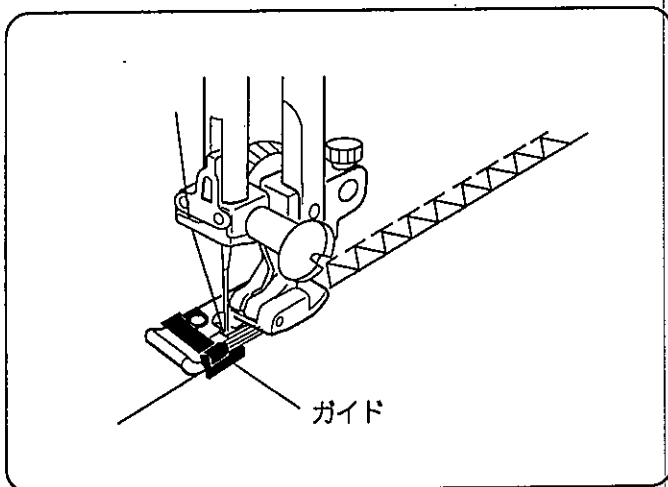
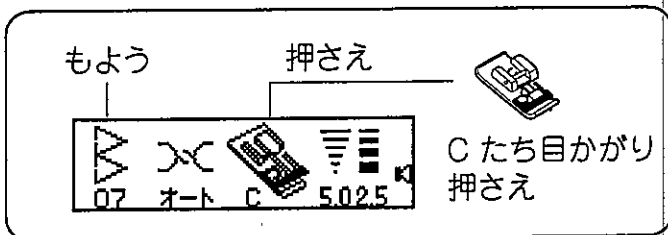
◎ニットステッチ



ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なところをぬい目の近くで切り落とします。

◎その他のかがりぬい

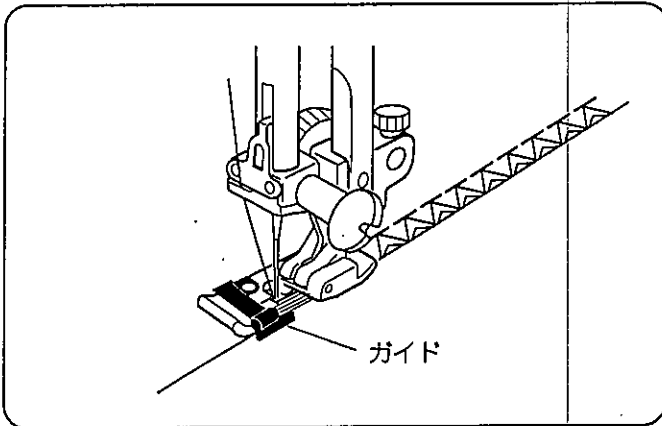
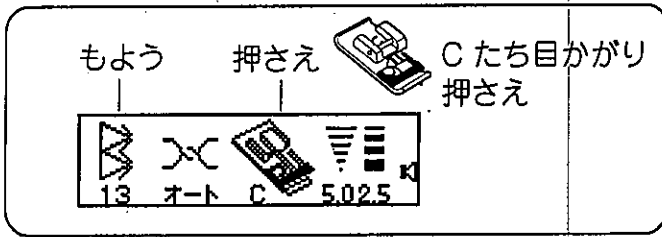
【かがりぬい(1)】



地ぬいを兼ねたかがりぬいに利用します。
また、布端のほつれ止めとしても使えます。
布端をたち目かがり押さえのガイドにあててぬいます。

※ぬい目の巾は、5.0～7.0でぬいます。
※目のとびやすい伸縮性の布や目のつんだ布には、ブルー針を使用すると効果があります。

【かがりぬい (2)】

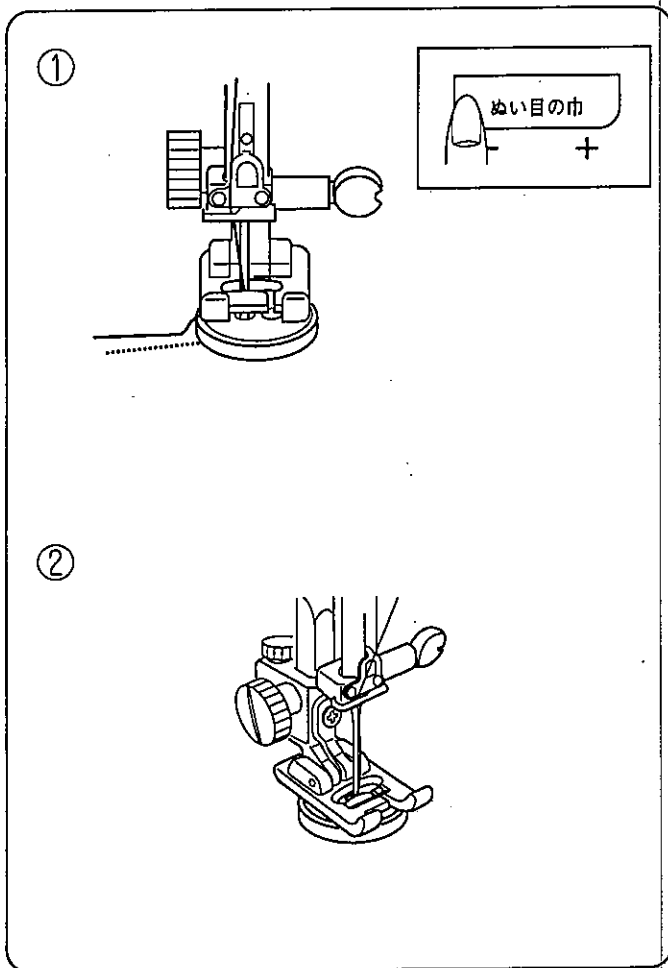
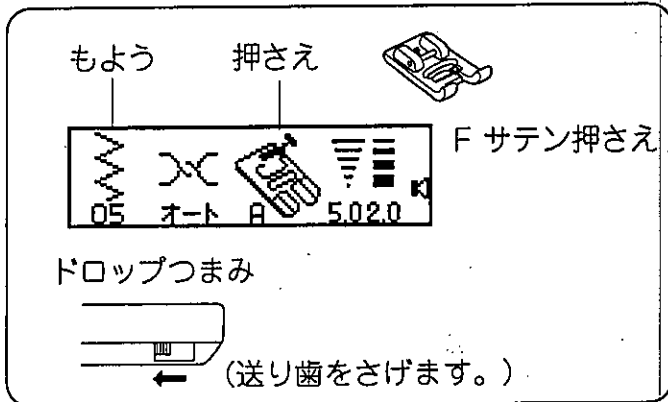


中、厚地のしっかりした布端をかがるときに利用します。

布端を押さえのガイドにあててぬいます。

※ぬい目の巾は、5.0~7.0でぬいます。

◎ボタンつけ



① ぬい目の巾キーを押し、ボタン穴の巾に針がおりるように「-」、「+」キーで調節します。ドロップつまみを左に動かして送り歯をさげます。(送り歯のさげ方は13ページをごらんください。)

はずみ車を手前にまわして、針が左にきたときボタンの左の穴におりるようにします。ぬい目の巾とボタンの左右の穴が同じ位置にくるようにして押さえ上げをさげます。

※ 模様のぬい始めには止めぬいが入っていますので、はずみ車を回したとき、左位置で数針上下を繰り返します。左右に針が振りはじめてからボタン穴の巾に合わせてください。

② はずみ車を手前にまわして、針が左右の穴におりることを確かめます。10針ほどぬったら、上糸と下糸を20cmくらい残して切ります。

※ ぬい始めの上糸と下糸は、ハサミで切りとってください。

③ 押さえ上げをあげて布を引き出し、ぬいおわりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。

※ ぬい終わったらドロップつまみをもどして、送り歯をあげます。

◎センサーボタンホールの種類

【スクエア (両止め)】 # 08・・・シャツ・ブラウスなどに使います。

*ダイレクト
○選択モード

モード

08 オート R 4.50.4 → 08 オート R 3.50.4 → 08 オート R 6.00.4

中 小 大

ダイレクトモードのとき、テンキー「8」を押すと巾の異なる3種類のボタンホールが選べます。
※選択モードで、もよう# 08を選んだときには「巾中」のボタンホールしかぬえません。

【ラウンド (片止め)】 # 09・・・シャツ・ブラウスなどの薄い素材に使います。

*ダイレクト
○選択モード

モード

09 オート R 4.00.4

中 小 大

ダイレクトモードのとき、テンキー「9」を押すと巾の異なる3種類のボタンホールが選べます。
※選択モードで、もよう# 09を選んだときには「巾中」のボタンホールしかぬえません。

【キーホール (鳩目穴)】 # 10・・・ジャケットなどの厚い素材に使います。

*ダイレクト
○選択モード

モード

10 オート R 7.00.4

大 中 小

ダイレクトモードのとき、テンキー「0」を押すと巾の異なる3種類のボタンホールが選べます。(表示順序は大中小になります。)
※選択モードで、もよう# 10を選んだときには「巾大」のボタンホールしかぬえません。

【スクエア (両止め)】 # 17/ # 18・・・伸縮性のある布に使います。

17 オート R 5.00.7

18 オート R 5.00.7

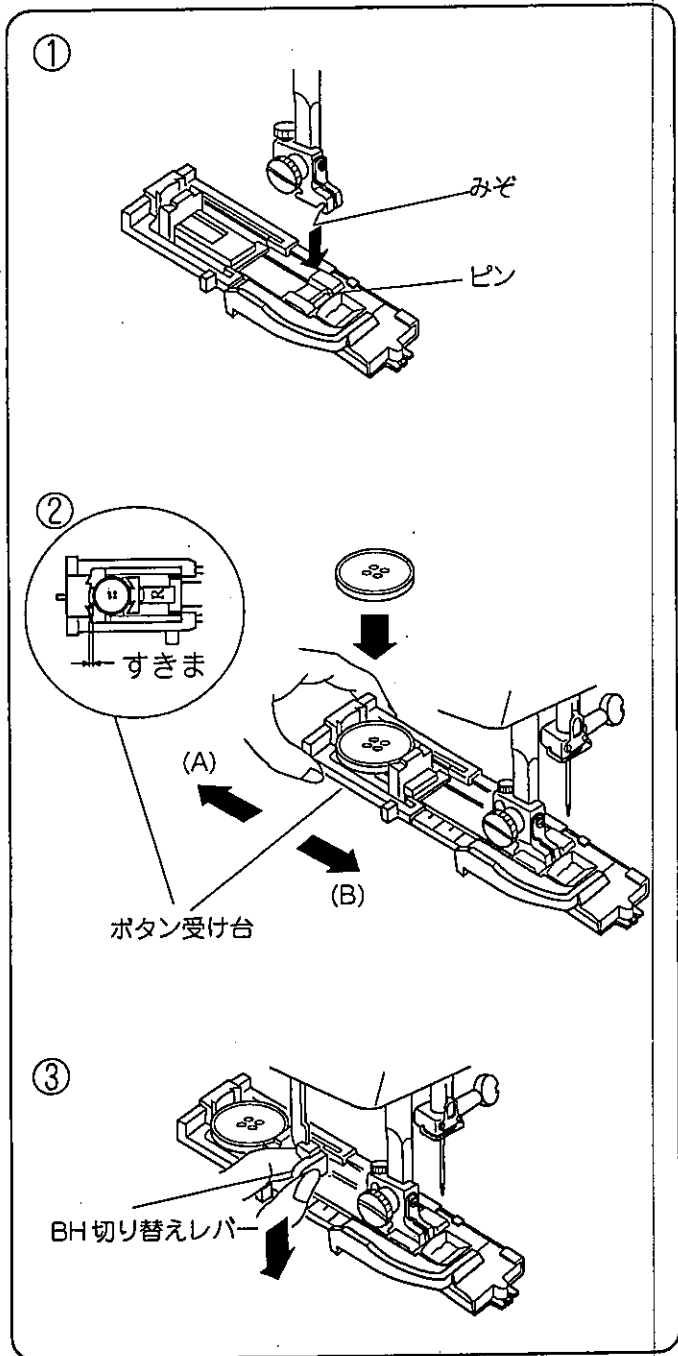
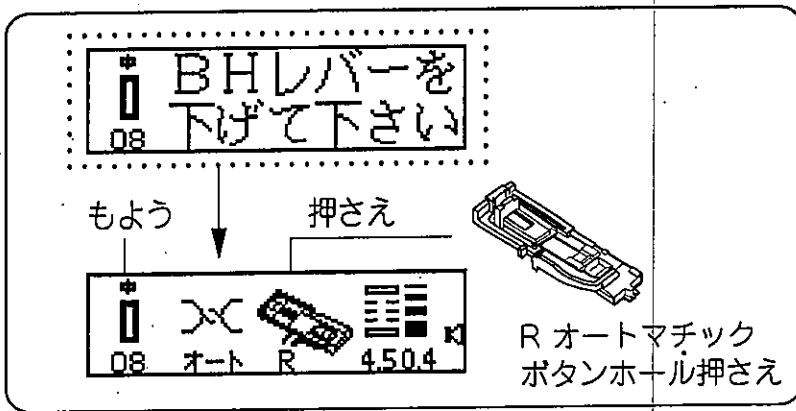
※もようを選ぶときは、 (ダイレクト) (選択モード) でテンキー入力して選びます。

※ぬい目の巾を変えるには、36 ページを
ごらんください。

- 【注意事項】
- ※ボタンホールの長さは、ボタンをセットするだけで自動的に決まります。
 - ※ボタンの直径が2.5cmまで、ボタンホールができます。
 - ※必ず試しぬいをして、正しくぬえることを確認しましょう。
 - ※ボタン受け台のすきまをあけて位置決めをすると、その分大きいボタンホールができます。
 - ※伸縮性のある布には、裏に芯地を貼り、押さえ圧ダイヤルを「1」または、「2」にしてぬいます。

◎センサーボタンホール (# 08)

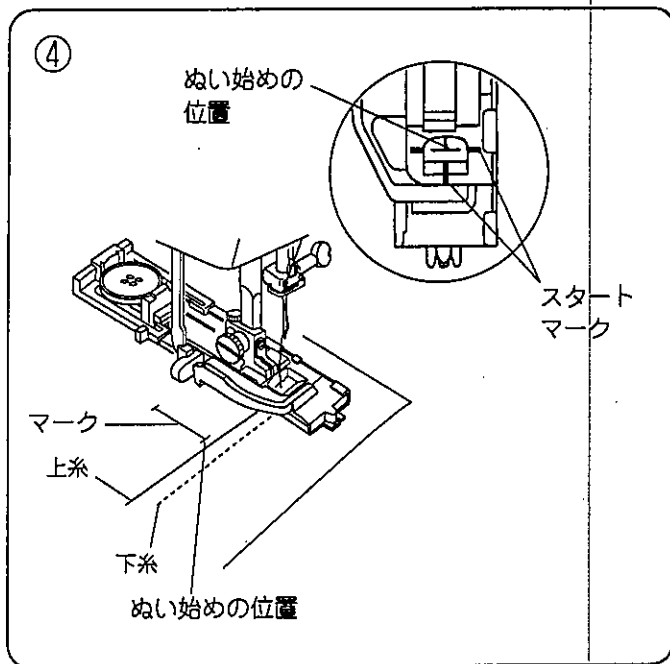
★ぬい方



①上下停針ボタンを押して針をあげ、押さえ上げをあげます。
押さえホルダーのみぞと押さえのピンをあわせ、押さえ上げをさげてセットします。

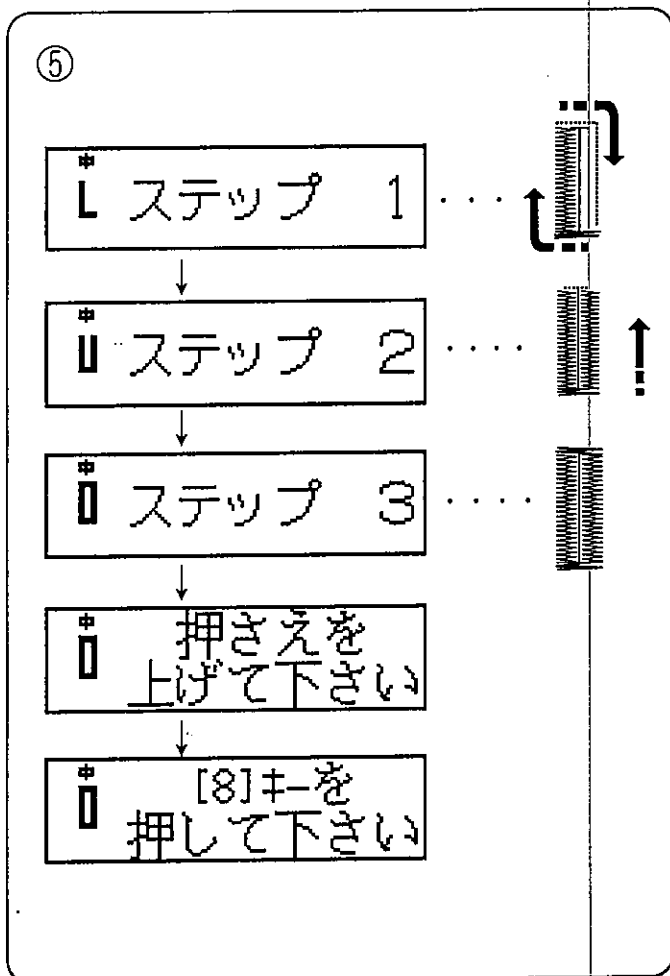
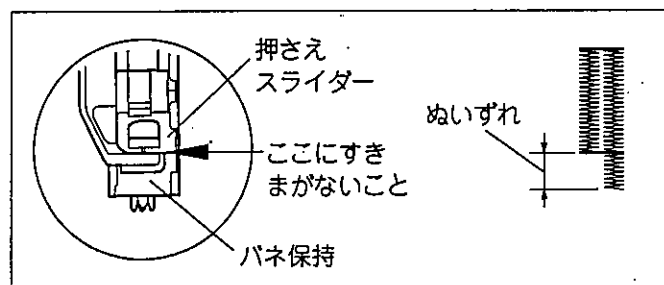
②ボタン受け台を(A)の方向へ引き、ボタンを乗せて(B)方向にもどしてはさみ込みます。
※ボタン受け台のすきまをあけて位置決めをすると、その分大きいボタンホールができます。

③BH切り替えレバーを止まるまでいっぱいに引きさげます。



④ 押さえをあげて上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。布を入れ、押さえのスタートマークとぬい始めの位置を合わせ、針をさして、押さえを下げます。

※ ぬい始めに、押さえスライダとバネ保持の間にすきまがないことを確認してください。すきまがあると、ぬい終わったときぬいずれがおこることがあります。



⑤ ミシンをスタートさせます。ボタンホールをぬい終わったところで、自動的に止まります。

【ぬっていく順序】

ステップ1・・・かんぬきと左側のボタンホールぬいをします。



ステップ2・・・右側のボタンホールぬいをします。

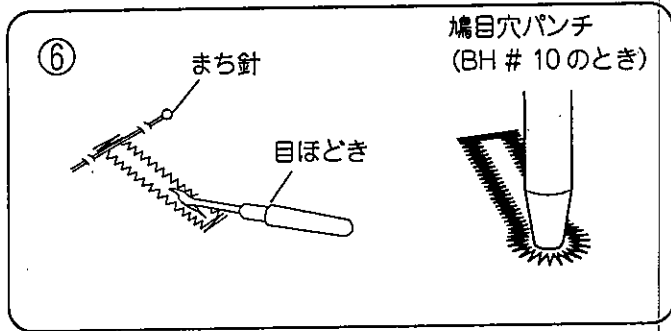
ステップ3・・・かんぬきと止めぬいをして自動的に止まります。

押さえ上げをあげます。

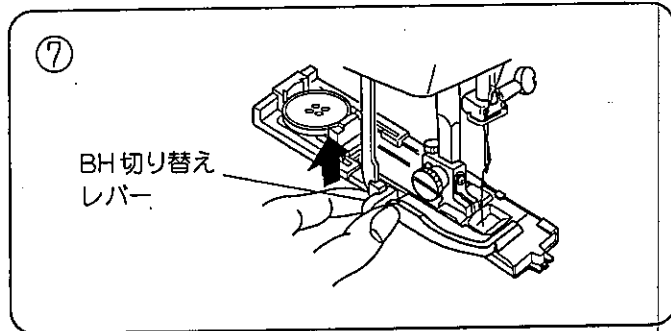
引き続きボタンホールをぬう場合には、テンキー「8」を押します。

ミシンをスタートします。

※ ボタンホール   は、押さえ上げをあげるだけで再びぬえます。

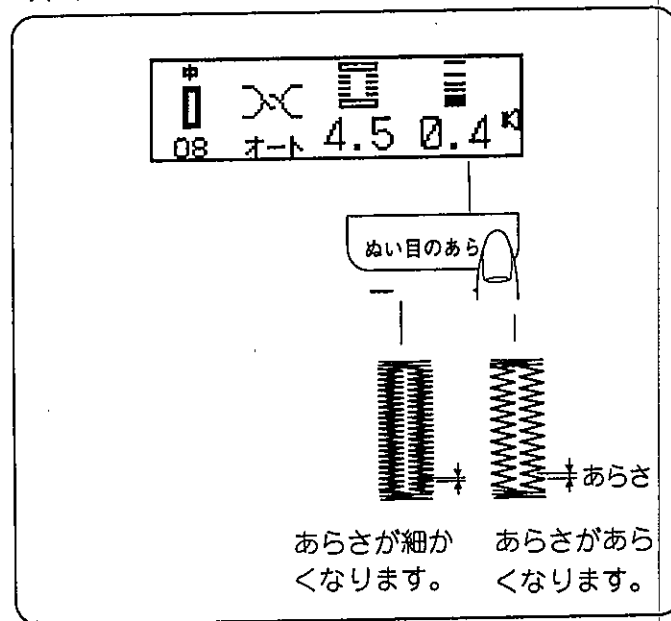


⑥ かんぬきの内側にまち針をわたして、目ほどきでかがった糸を切らないように切り開きます。



⑦ ボタンホールぬいが終わったら、BH切り替えレバーを止まるまでいっぱい押しあげて、もどしてください。

★ぬい目のあらし調節

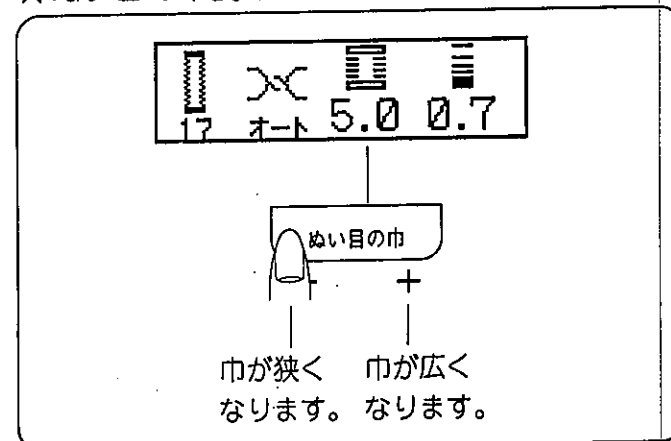


【ぬい目のあらしを変えるとき】

ぬい目のあらしキーを押すと、自動セットされている数値0.4が表示されます。「-」または「+」キーを押して0.2～0.8の範囲で変えてください。

※ボタンホール# 17、# 18のぬい目のあらしを変えるには0.5～1.0の範囲で変えてください。

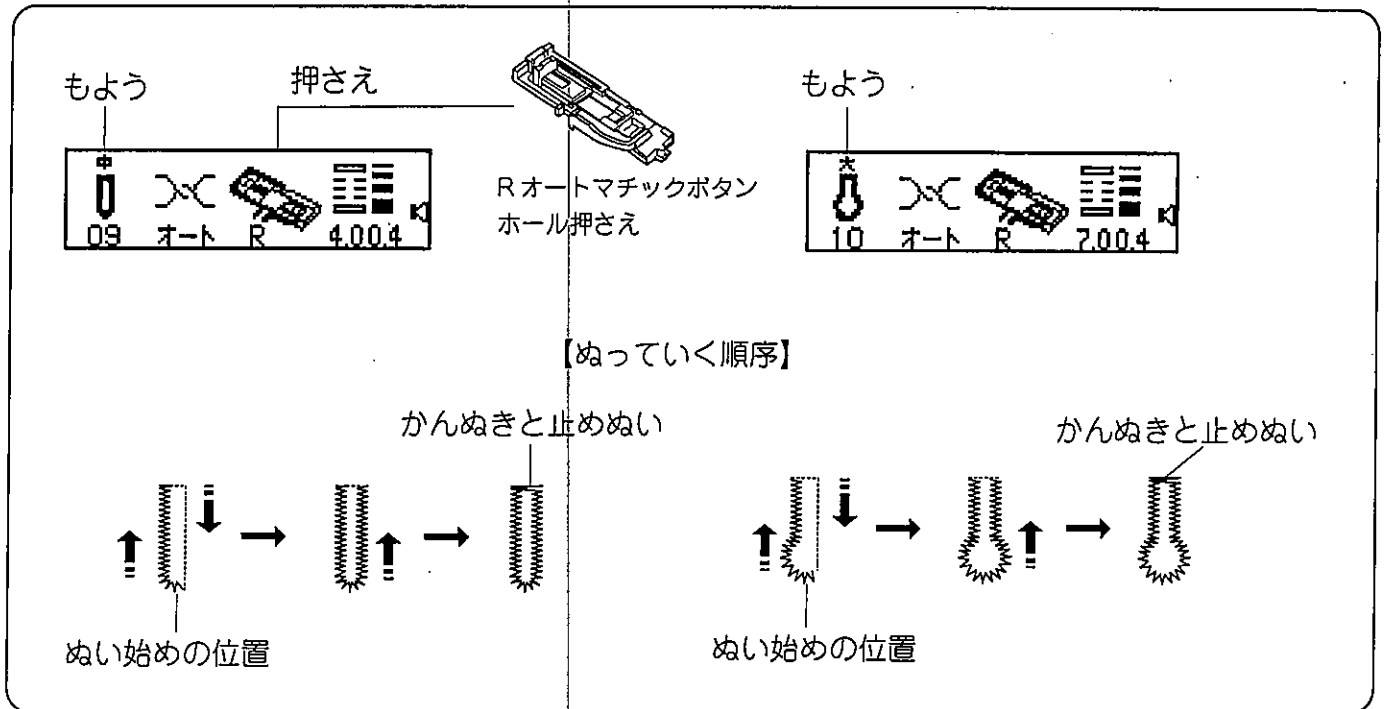
★ぬい目の巾調節・・・もよう# 17/18



ぬい目の巾キーを押すと、自動セットされている数値5.0が表示されます。「-」または「+」キーを押して2.5～7.0の範囲で変えてください。

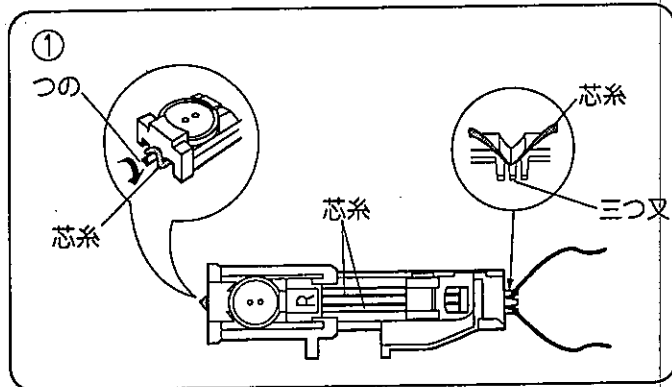
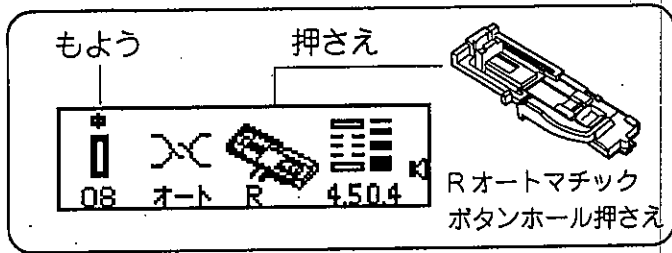
※もよう# 08、# 09、# 10のぬい目の巾は、かえられません。

◎センサーボタンホール (#09/#10)

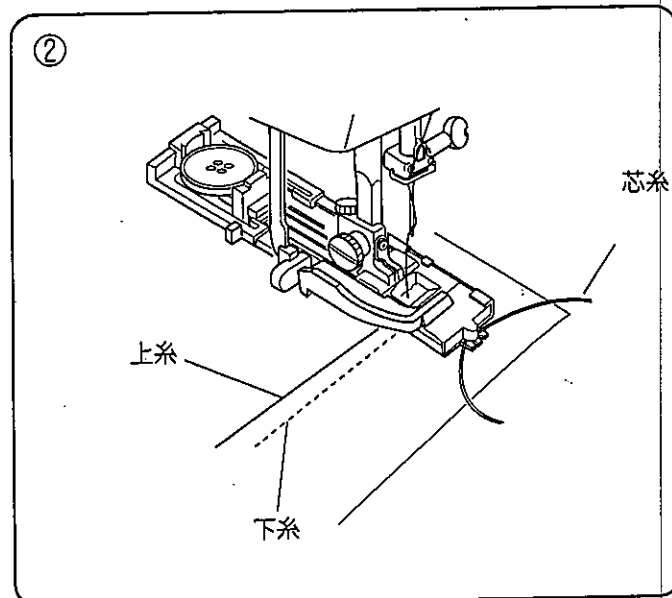


※ぬい方及びぬい目のあらかさ調節は、センサーボタンホール# 08と同じです。

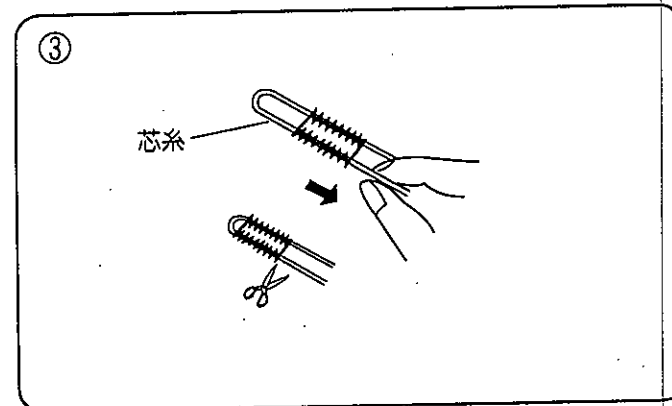
◎芯入りセンサーボタンホール



- ① R オートマチックボタンホール押さえを押しさえホルダーにセットして、芯糸の輪を押しさえの後ろ側にあるつのかけ、押しさえの下から手前に平行になるように引きだし、前側の三つ又にはさみます。
ぬい目の巾は芯糸にあわせてセットします。



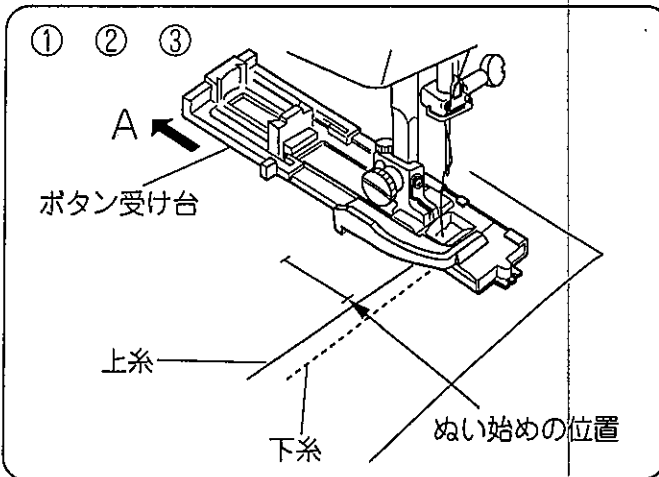
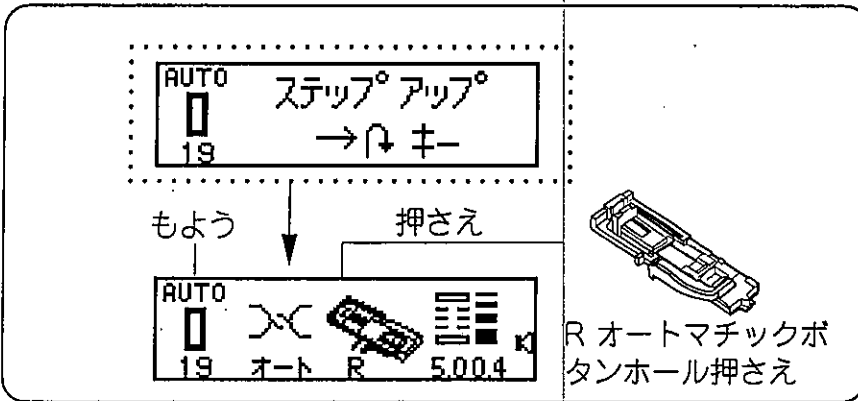
- ② 上糸と下糸を横に引き出してそろえます。ぬい始めの位置に針をさして押しさえ上げをさげます。
ミシンをスタートさせて、センサーボタンホールの手順と同じようにぬいます。



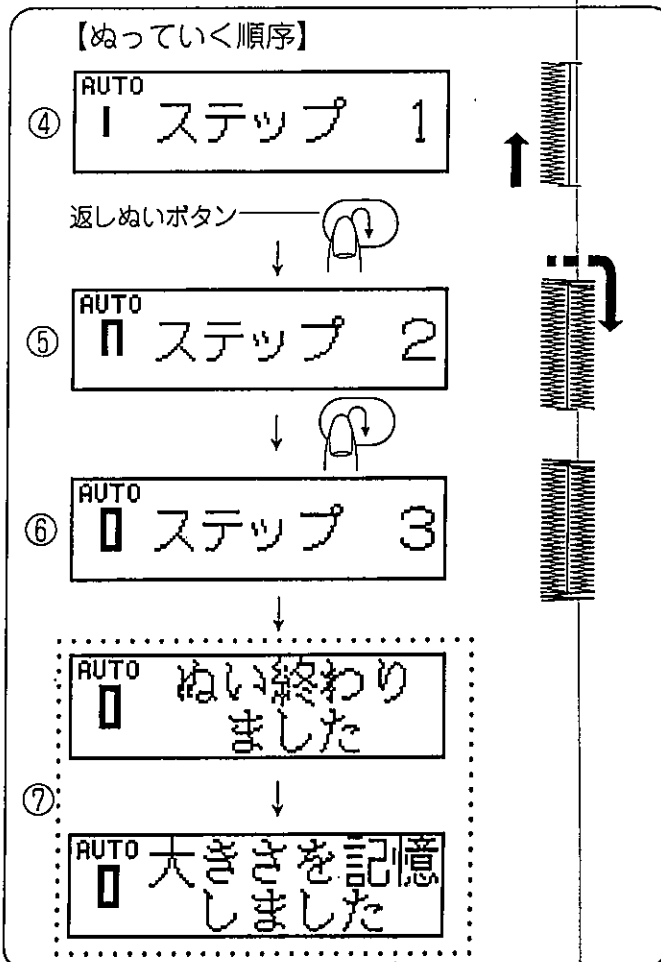
- ③ 左側の芯糸を引いて、たるみをなくし余分な糸を切ります。

※穴のあけ方は、36 ページをごらんください。

◎オートボタンホール (# 19)



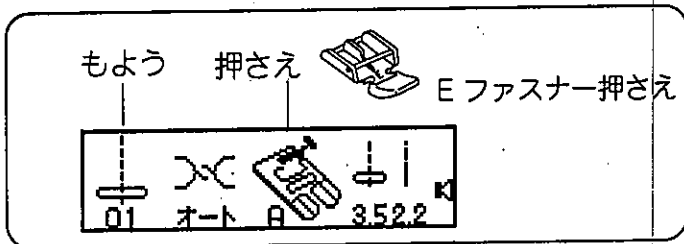
- ① ボタン受け台を A の方向に一杯に引き出します。
- ② 上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して上糸とそろえます。
- ③ ぬい始めの位置に針をさし、押さえ上げをさげます。



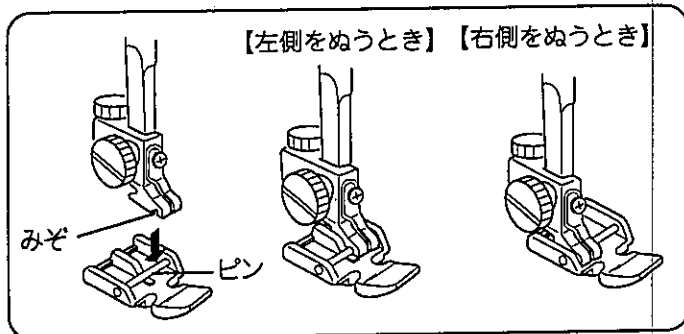
- ④ ステップ 1・・・ 左側のボタンホールをぬい必要な長さまでぬったらミシンを止め、返しぬいボタンを押します。
- ⑤ ステップ 2・・・ かんぬきと右側のボタンホールをぬい、ぬい始めの位置に戻ったらミシンを止めて、返しぬいボタンを押します。
- ⑥ ステップ 3・・・ かんぬきと止めぬいをして自動的に止まるまでぬいます。
- ⑦ 押さえ上げをあげます。
ミシンは、一度ぬったボタンホールの大きさを記憶しています。二度目からは、同じ大きさのボタンホールが自動的にできます。

※ボタンホールの大きさを変更したいときには、もよう # 19 をもう一度選択してください。
※ ボタンホールの左右のぬい目あらかさがそろわないときには、53 ページをごらんください。

◎ファスナーつけ

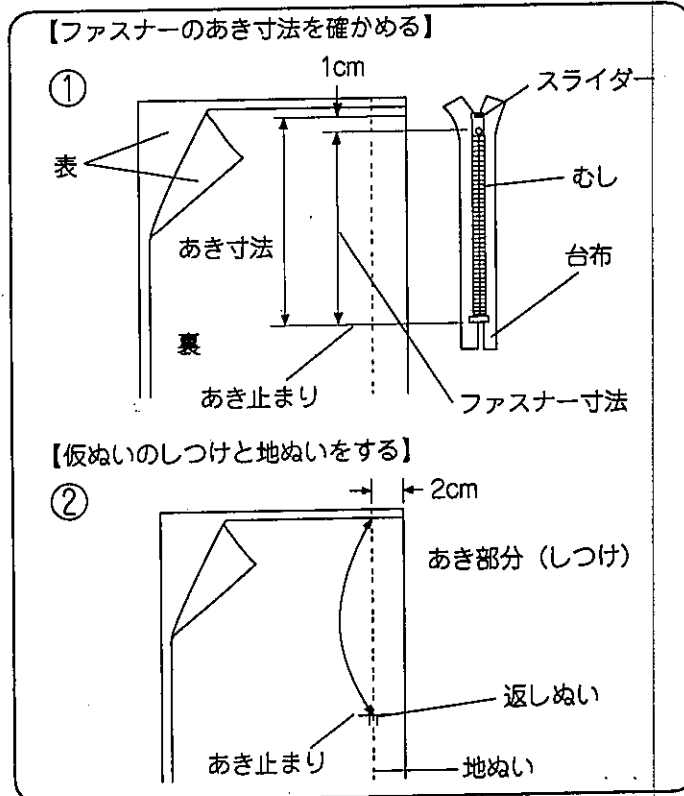


★ファスナー押さえのつけ方



左側をぬうときは、押さえホルダーのみぞにピンをあわせて右側にセットします。
右側をぬうときは、左側にセットします。

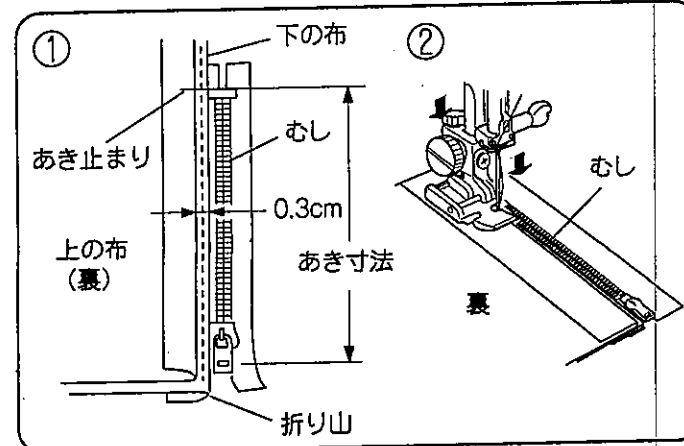
★準備 (例：左脇あきのぬい方)



①ファスナーのあき寸法を確かめます。
あき寸法はファスナー寸法に 1cm プラスした寸法です。

②仮ぬいのしつけと地ぬいをします。
布を中表にあわせて、あき止まりまで地ぬいをします。
あき部分は、ぬい目のあかさ 0.4cm でしつけをします。
※しつけは、ほどこやすいように糸調子を「1」くらいにしてぬいます。

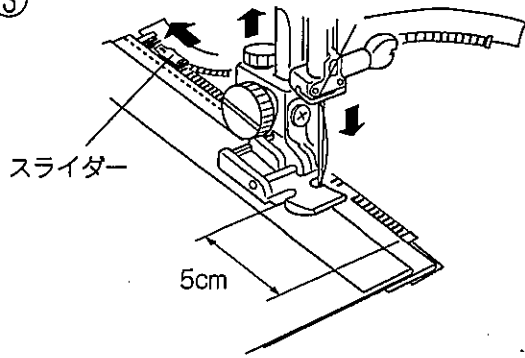
★ぬい方



①ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを 0.3cm 出して、アイロンで折り目をつけ、折り山をむしのきわにあてます。

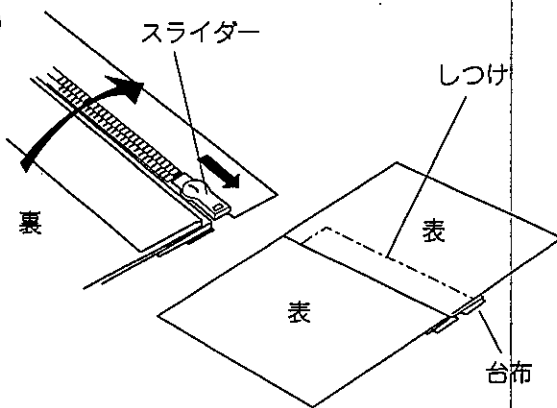
②押さえホルダーをファスナー押さえの右側にセットして、むしのきわに押さえの端をあてて、あき止まりからぬいます。

③



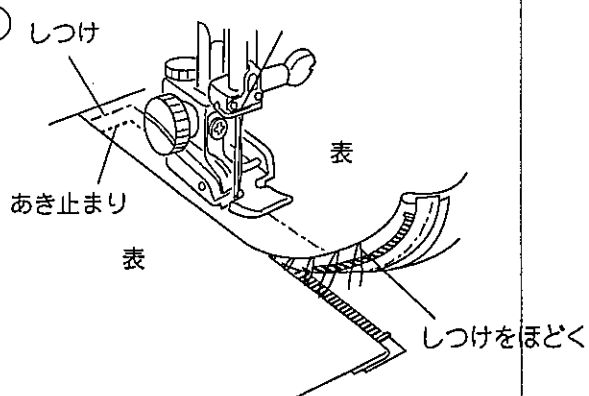
③ファスナーの端から5cmほど手前でミシンを止め、針を布にさします。
 押さえをあげてスライダを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。

④



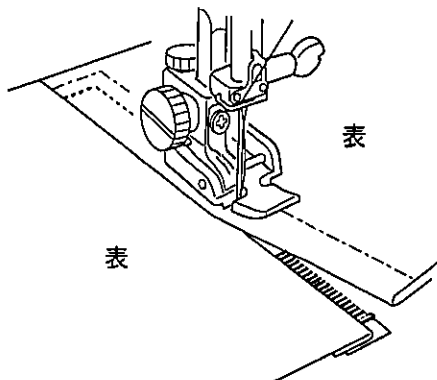
④ファスナーをとじ、スライダを上になおし、上の布をファスナーの上にかぶせます。
 かぶせた布と台布をしつけで止めます。

⑤



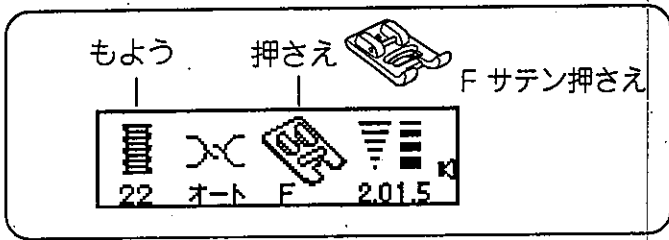
⑤押さえホルダーをファスナー押さえの左側につけかえ、上の布のあき止まりを返しぬいし、むしのきわに押さえの端をあててぬいます。
 ファスナーの上側を5cmほど残したところで止め、はずみ車をまわして針をさげ、針を布にさしたままで押さえ上げをあげて、しつけ糸をほどきます。

⑥

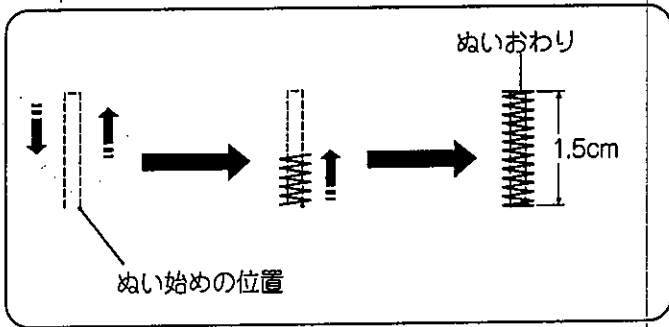


⑥スライダを押さえの向こう側にずらし、押さえをさげて残りの部分をぬいます。

◎かんぬき止めぬい

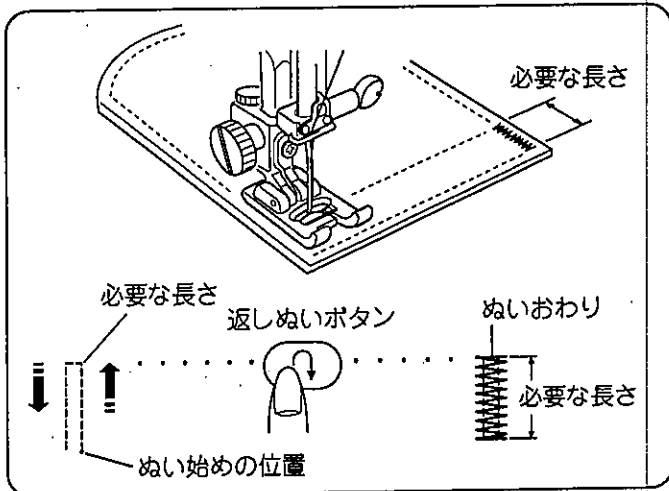


※ぬい目に力がかかって、ほつれやすい部分などに使うと、ぬい目がしっかりします。



一回のぬいで、オート値で 1.5cm が自動的にぬえます。

ぬい目の巾、あらさを変えたいときは、
ぬい目の巾 または ぬい目のあらし キーを押して調節してください。

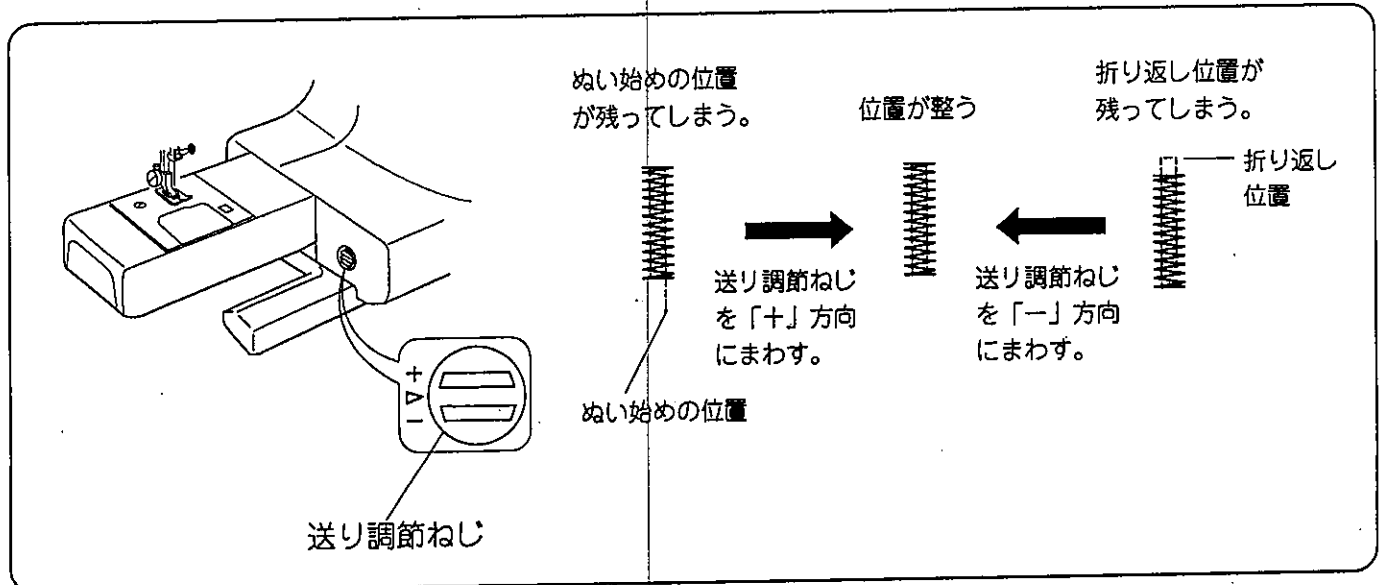


1.5cmより短い長さでぬうときは、必要な長さまでぬい、返しぬいボタンを押すと、その長さが決まります。

【かんぬき止めの記憶】

M 記憶 キーを押して、再スタートすると、くり返し同じ長さのかんぬき止めがぬえます。

【もよう位置ずれの整え方】 もよりの位置がずれる場合には、実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。



◎三つ巻きぬい

【直線三つ巻きぬい】

もよう 押さえ

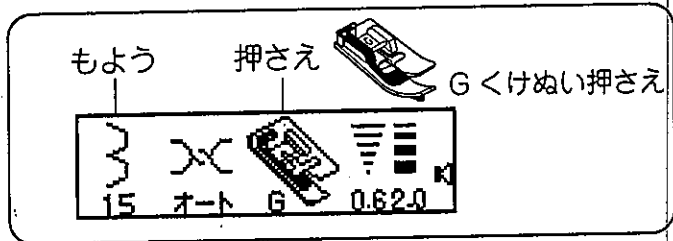
【ジグザグ三つ巻きぬい】

もよう 押さえ

(ぬい目の巾を 1.0～2.0 で使用します。)

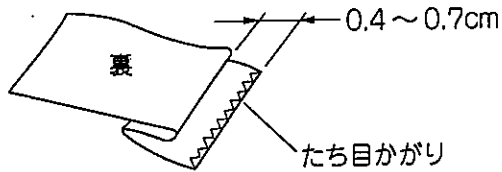
- ① 布端の長さ 6cm を約 0.3cm の巾で三つ折りにします。
※折り目のつきにくい布はアイロンで折り目をつけておくと、ぬいやすくなります。
- ② ぬい始めの部分に針をさし、押さえ上げをさげます。上糸と下糸をそろえて向こう側に引きながら、布端と押さえのガイドをあわせて 1～2cm ぬいます。
- ③ 上下停針ボタンを押して針をさし、押さえ上げをあげて三つ折りの部分を開き、押さえのうずの中にまき込みます。
- ④ 押さえ上げをさげ、布端を立てて、左寄りに引きぎみに持ちあげながらぬいます。
- ⑤ 布端のしまつをするとき、三つ巻きぬいの重なる部分は、布端を切り落として折りあわせ、厚みをうすくします。

◎くけぬい (まつりぬい)



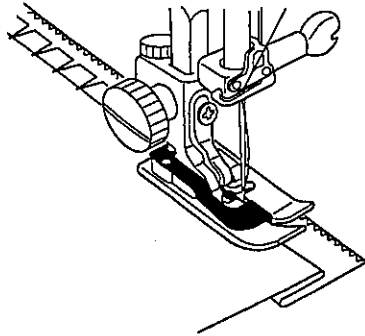
※もよう # 14 も使えます。

【布の折り方】



【ぬい】

①



① ガイドを折り山に合わせ、針が折り山からはずれないように、ぬい目の巾キーで針落ち位置を調節してぬいます。

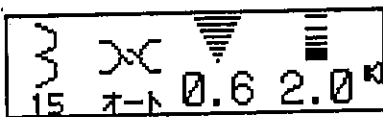
②



② ぬいおわたたら布をひろげます。

※左側におりる針が必要以上にかかりすぎると、表に出るぬい目が大きくなり、きれいに仕上がりにませんのでご注意ください。

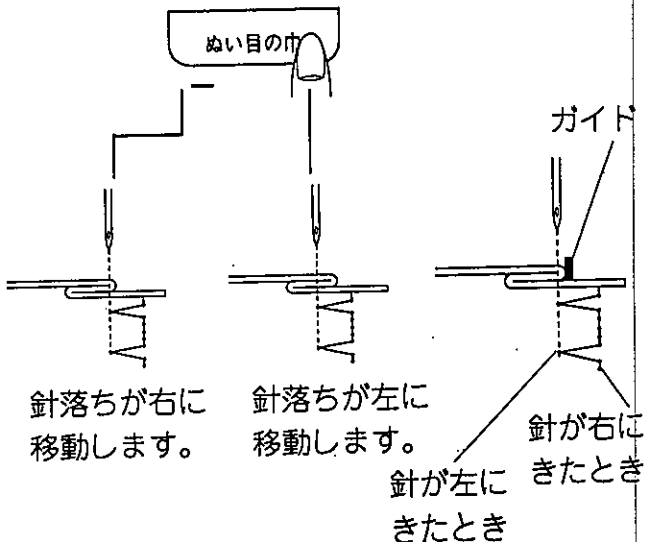
【針落ち位置をかえたいとき】



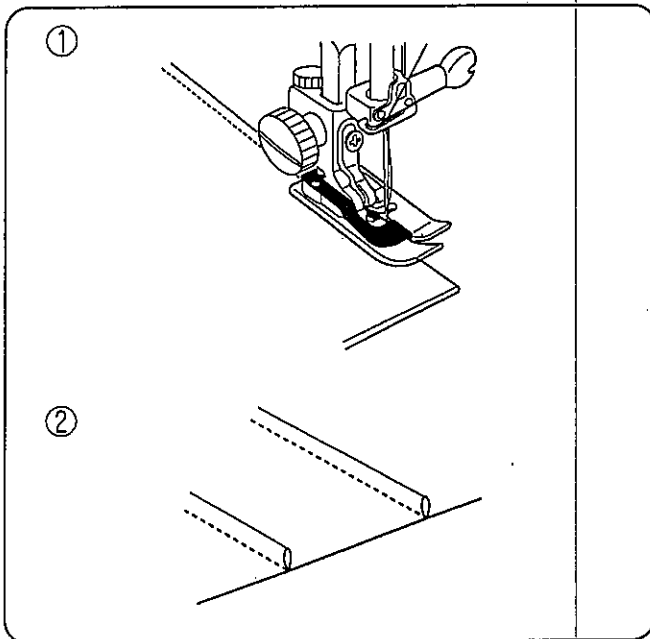
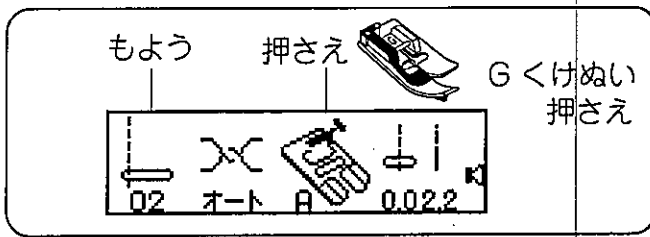
ぬい目の巾キーを押すと、自動セットされている数値0.6が表示されます。

※表示0.6は、ガイドから針落ちが左にきたときの巾を示します。

※もよう # 14、# 15は、ぬい目の巾は変化せず、ガイドからの針落ちが変わります。



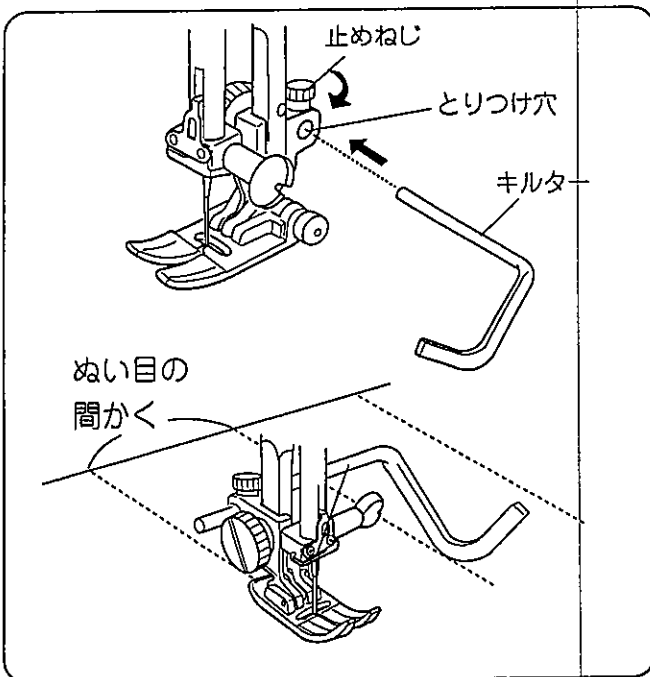
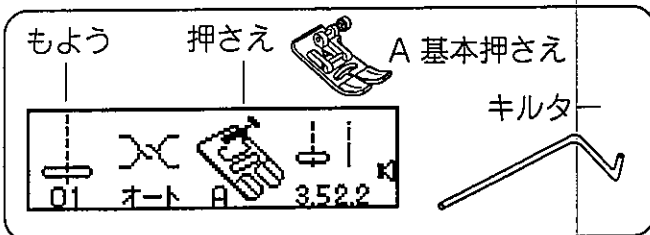
◎ピンタック



① 布の折り山をガイドに合わせてぬいます。

② ぬい終わったら片返しにして、アイロンをかけ整えます。

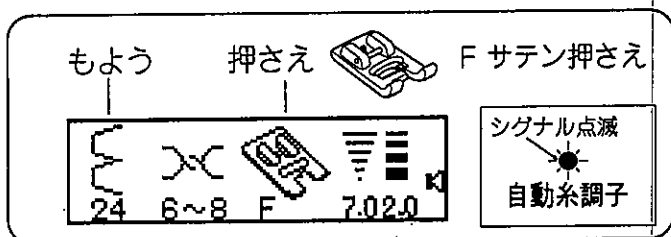
◎キルティング



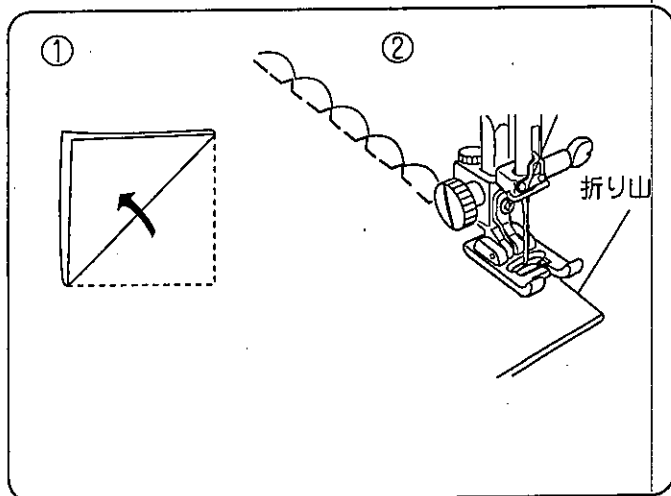
キルター止めねじをゆるめて、キルターをとりつけ穴に入れ、ぬい目の間かくにあわせて止めねじをしめます。

※キルターは前にぬったぬい目をたどるのに使います。

◎シェルタック



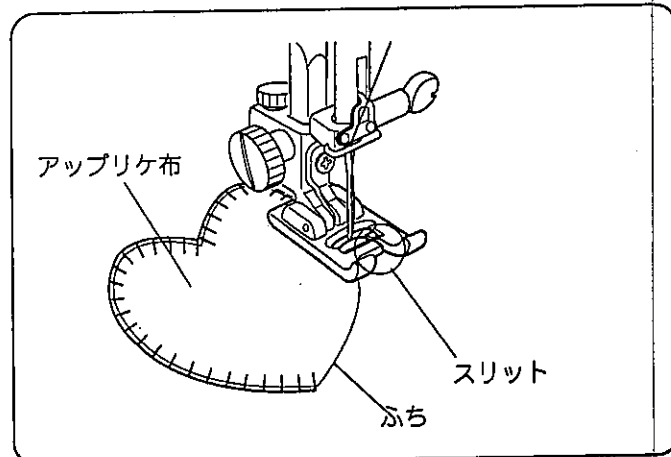
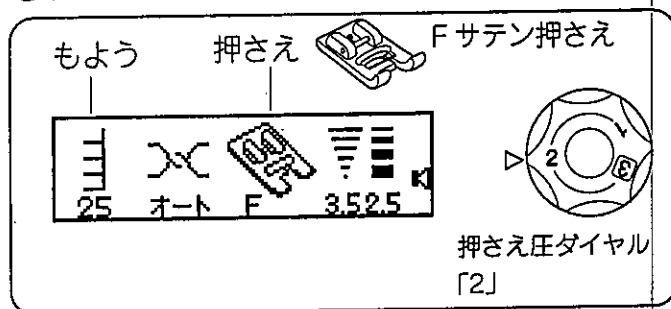
※もよう# 24 を選ぶと、画面の糸調子に6~8が表示されシグナルが点滅します。
 マニュアル糸調子「6~8」でご使用ください。



- ① 布をバイアスに二つ折りにします。
- ② 針が右にきたとき布の折り山のきわにおりるようにしてぬいます。
 布を開き、アイロンで山を片側にたおします。

※糸調子は試しぬいをしてシェルタックの山がきれいになるように調整します。

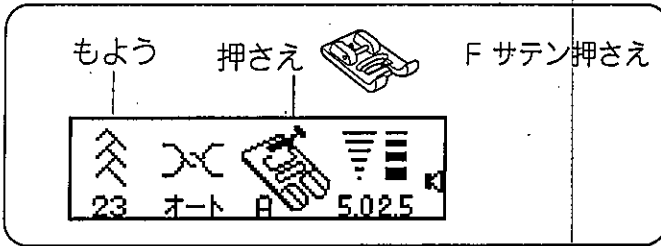
◎アップリケ



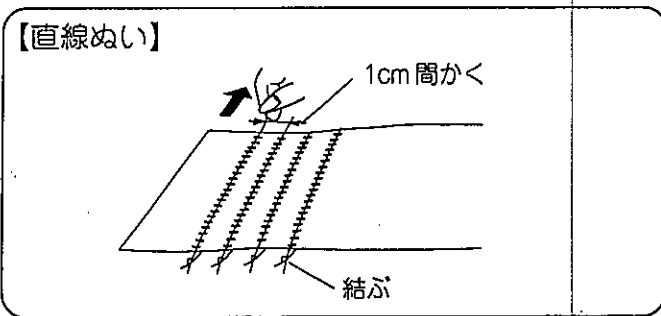
アップリケ布を糊づけするか、しつけで止めます。
 アップリケ布が針の左にくるようにし、スリットをアップリケ布のふちにそわせながらぬっていきます。

※カーブのところや方向転換するところでは、ミシンを止め、上下停針ボタンを押して針を下位置にしたままで方向をかえると、きれいに仕上がります。
 ※ぬい終わったら、押さえ圧ダイヤルを「3」にもどします。

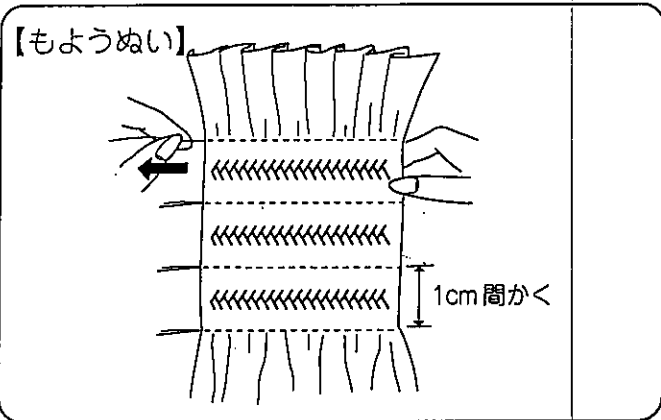
◎スモッキング



※ほかに# 28、# 29、# 30などのもようが使えます。

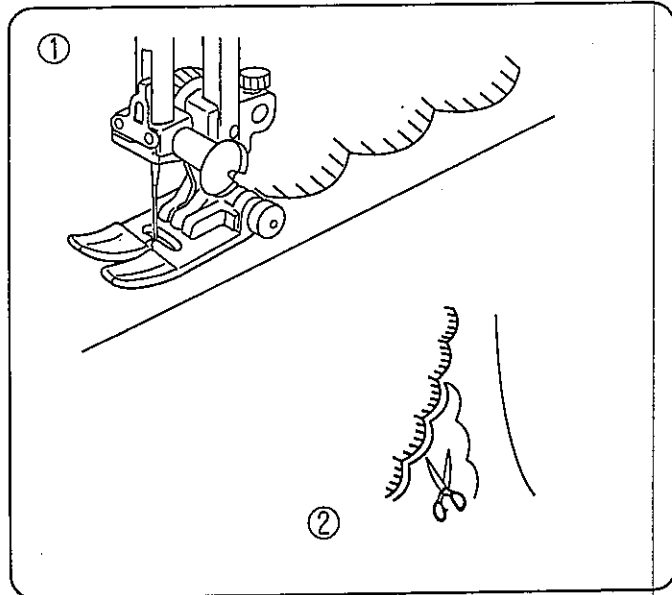
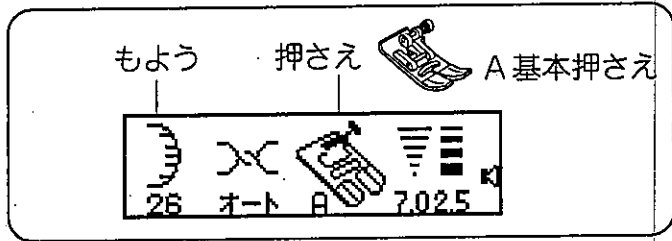


上糸の調子を弱くして、ぬい目のあらかさが0.3～0.4cmの直線を1cm間かくで数本ぬいます。



上糸と下糸を布の片側でむすび、反対側から下糸を引いてひだをよせ、上糸と下糸を結びます。直線ぬいと直線ぬいの間にもようぬいをしてから直線ぬいの糸を抜きとります。

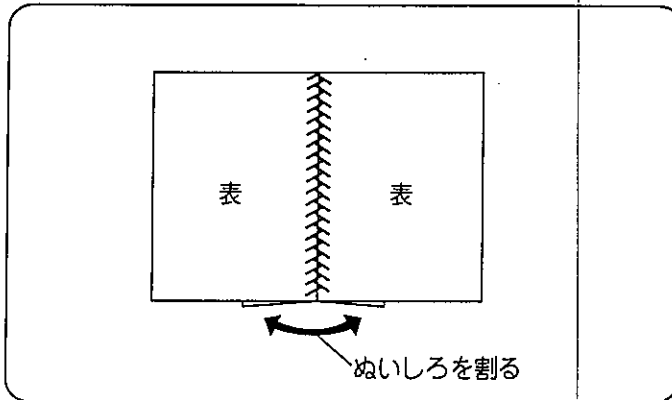
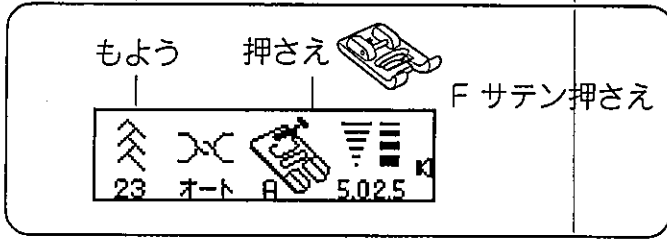
◎スカラップ



※もよう# 33も使用できます。

- ① 布を表から、布端を 1cm くらい残してぬい
ます。
- ② 糸を切らないように、外側の布を切り落としま
す。

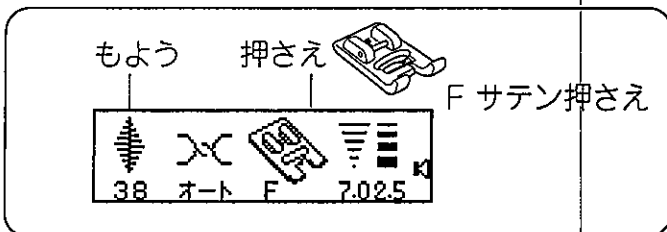
◎パッチワーク



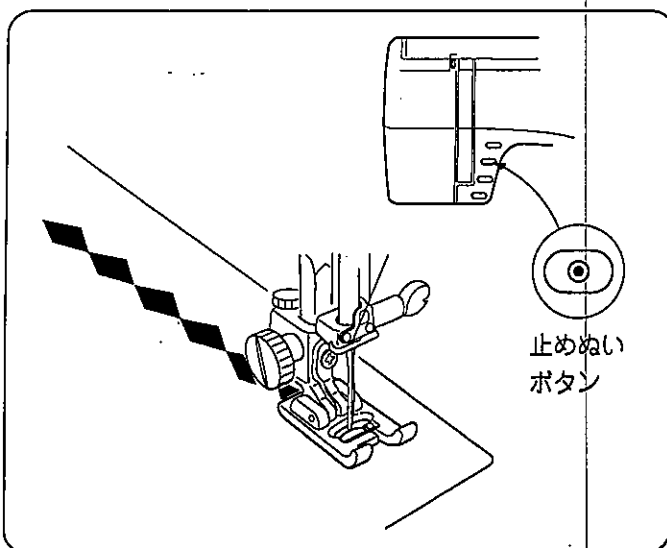
布を中表にあわせ、地ぬいをしてぬいしろを割ります。

布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

◎もよう密着ぬい



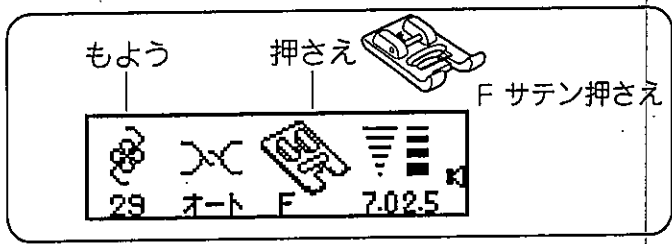
※もようは、# 31～# 42が使えます。



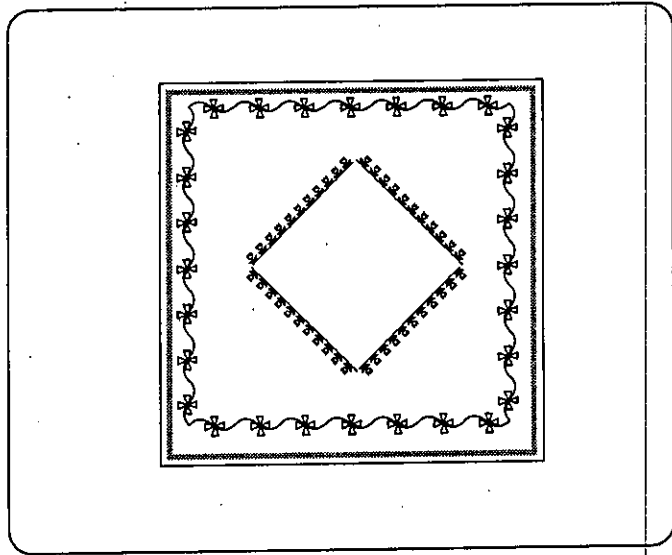
布が縮むときは、下に紙を敷くか、または、接着芯を貼ると、きれいに仕上がります。

「止めぬい」ボタンを押すと、そのもようの最後で自動的に止まります。

◎飾りぬい

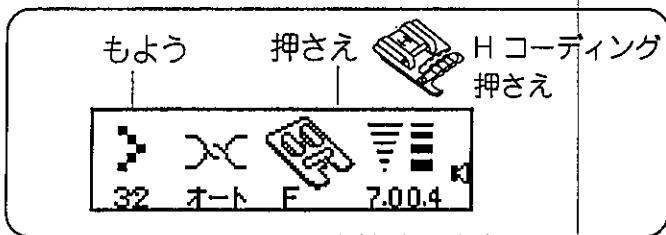


※もようは、# 27～30 などが使えます。

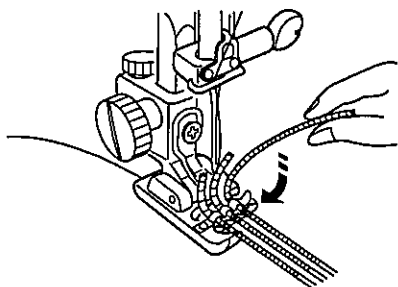


テーブルクロスなどの飾りぬいとして使用します。布が前後するので、ぬい目がまがらないように注意してぬいます。

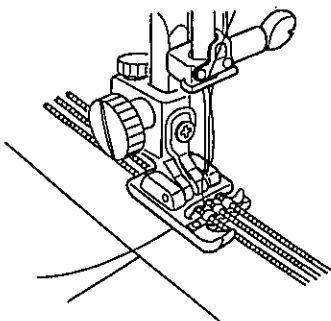
◎コーディング



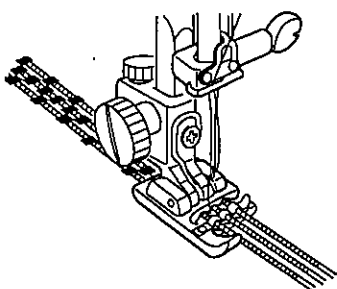
①



②



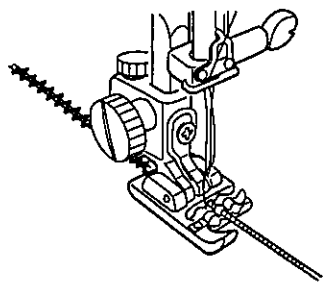
③



【3本コードのとき】

- ① コードを、押さえばねの下にくぐらせ、みぞに通します。
- ② コードを押さえのスリットから押さえの下をくぐらせ、押さえのみぞに入れます。
- ③ コードを平行にそろえて、ぬい目がコードにまたがるように、ぬいます。

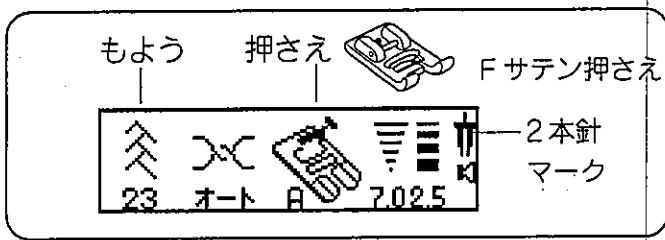
※コードは、極細毛糸やフランス刺しゅう糸、レース糸などを利用します。



【1本コードのとき】

押さえの中央のみぞを使い、もよう#05のぬい目の巾を調節してぬいます。

◎ 2本針ぬい

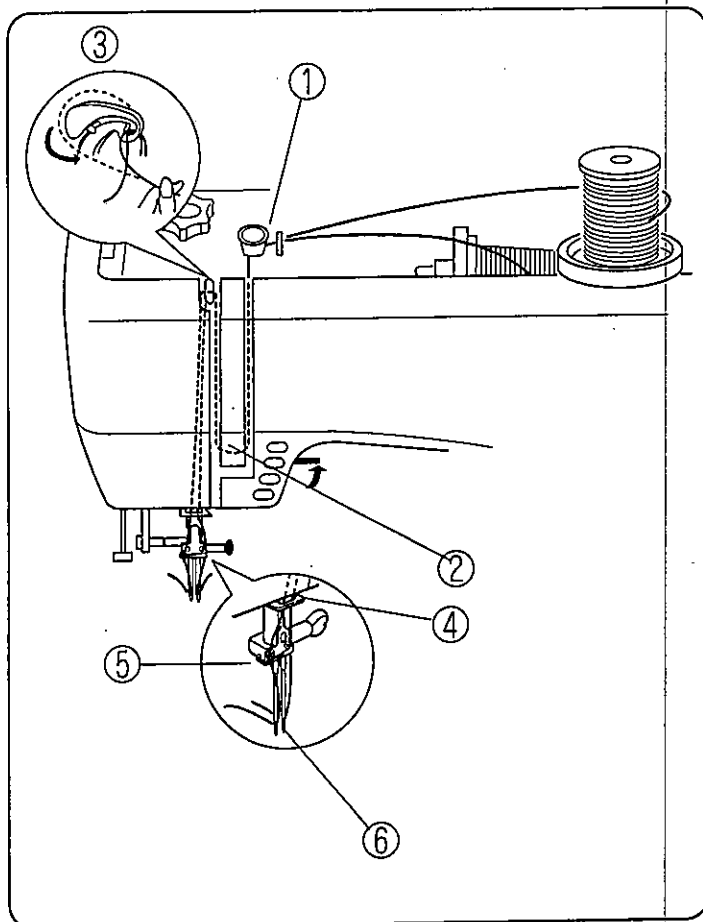


※もようは、#01、#05、#23、#26、#31、#33などが使えます。これ以外のもようのときには、ためしぬいをしてください。

※2本針ぬいするとき押さえは、A基本押さえ又は、Fサテン押さえをご使用ください。

※針の取りかえは、電源スイッチを切って行ってください。

※補助糸立て棒の下側に糸こま受け台を差し込んで、とりつけ穴に補助糸立て棒を立て、糸こまを入れます。(17ページをごらんください。)



二つの糸こまから引き出した二本の糸は、途中でよじれないように①～⑥の順序で正しく掛けてください。

①～④の糸の通し方は、1本針のときと同じです。※糸の端は、左図の如く、手前から向こう側に出るようにします。

※補助糸立て棒の糸こまの糸の端は、向こう側から出るようにします。

⑤針棒糸掛けに左右に分けて掛けます。

⑥2本針に左右に分けて糸を通します。

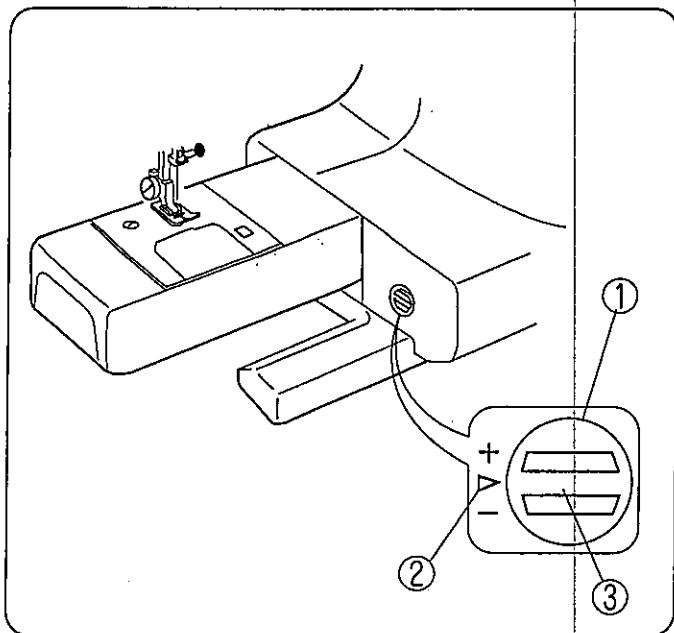
※糸通しは使えませんが、針の手前から向こう側に、手で通してください。

⑦電源を入れ、もようを選んで2本針キーを押します。

※「2本針」キーを押すと、2本針マークが表示されます。

※ぬい方向を変えるときは、針を上げて布の方向を変えてください。

◎もよりの形の整え方

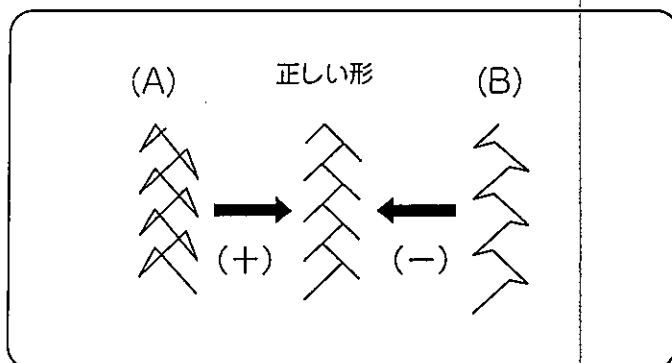


布の種類、厚さ、ぬいの速さなどによっては、もよりの形がくずれることがあります。実際にぬうときと同じ条件で試しぬいをしながら、送り調節ねじで調節してください。

※標準指示マークと指示線が一致する位置が、もよりを正しくぬえる目安の位置です。

- ①送り調節ねじ
- ②標準指示マーク
- ③指示線

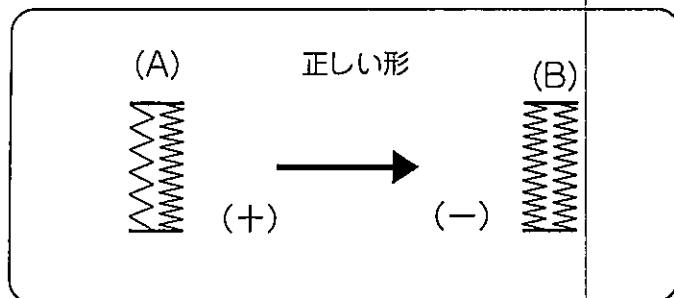
【スーパーもよりの形の整え方】



図(A) のようにもよりがつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図(B) のようにもよりがのびているときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

【オートボタンホール (# 19) の左右のぬい目あらしの整え方】



図(A) のように左側があらいときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。

図(B) のように右側があらいときは、送り調節ねじを「-」方向にまわします。

●プログラムぬい (もようの組み合わせ「記憶」ぬい)

◎連続もようぬいの例 (もよう# 42・# 38)

ステップ	表示	ぬい
① ○ダイレクト *選択モード モード		
② ④ ②		
③ M 記憶		
④ ③ ⑧		
⑤ M 記憶		

「記憶させたもようを、くりかえしぬいます。」

- ① 選択モードを選びます。
- ② もよう# 42 を選びます。
- ③ 「記憶」キーを押します。
- ④ もよう# 38 を選びます。
- ⑤ 「記憶」キーを押します。
- ⑥ ミシンをスタートしてぬいます。

※ぬいおわりは、最後のもようをぬっている途中に「止めぬいボタン」(◎)を押します。もようを最後までぬって、止めぬいをし、自動的に止まります。

◎止めぬいを使ったもようぬいの例 (もよう# 42・# 38・# 43)

ステップ	表示	ぬい
① ○ダイレクト *選択モード モード		
② ④ ②		
③ M 記憶		
④ ③ ⑧		
⑤ M 記憶		
⑥ ④ ③		
⑦ M 記憶		

「記憶させた数のもようをぬって自動的に止まります。」

- ① 選択モードを選びます。
- ② もよう# 42 を選びます。
- ③ 「記憶」キーを押します。
- ④ もよう# 38 を選びます。
- ⑤ 「記憶」キーを押します。
- ⑥ もよう# 43 を選びます。
- ⑦ 「記憶」キーを押します。
- ⑧ ミシンをスタートしてぬいます。

※プログラムするとき正しくない操作をすると警告電子音(ブザー)が鳴って誤りを知らせてくれます。

◎反転記憶を使ったもようぬいの例 (もよう# 36)

ステップ	表示	ぬい
① ○ダイレクト *選択モード モード		
② ③ ⑥		
③ M 記憶		
④ 反転記憶		

もようを選んでから「反転記憶」キーを押すと、キーを押した数だけそのもようを左右反対に記憶します。

- ①選択モードを選びます。
- ②もよう# 36 を選びます。
- ③「記憶」キーを押します。
- ④「反転記憶」キーを押します。
- ⑤ミシンをスタートしてぬいます。

※ぬいおわりは、最後のもようをぬっている途中に「止めぬいボタン」(◎)を押します。もようを最後までぬって、止めぬいをし、自動的に止まります。

◎プログラムぬいを途中でやめたとき

【プログラムのはじめからぬうときは】

・・・(先頭頭出し)

- ①プログラム内容
- ②ミシンを止めた位置
- ③ミシンを止めたら記憶キーを押します。
- ④ミシンをスタートさせると、プログラムしたはじめのもようからぬっていきます。

※ぬいおわりは、最後のもようをぬっている途中に「止めぬいボタン」(◎)を押します。もようを最後までぬって、止めぬいをし、自動的に止まります。

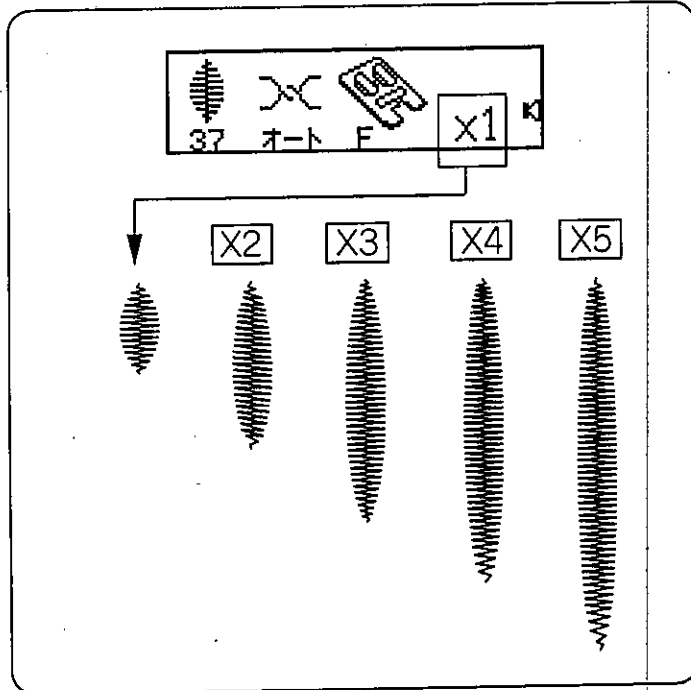
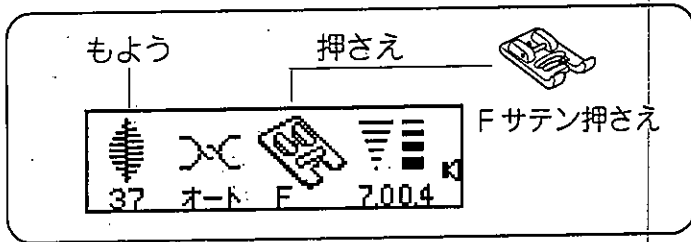
【ぬいかけたもようのはじめからぬうときは】


・・・(途中頭出し)

- ①プログラム内容
- ②ミシンを止めた位置
- ③ミシンを止めたら反転記憶キーを押します。
- ④ミシンをスタートさせると、ぬいかけていたもようのはじめからぬっていきます。

※ぬいおわりは、最後のもようをぬっている途中に「止めぬいボタン」(◎)を押します。もようを最後までぬって、止めぬいをし、自動的に止まります。

◎エロンゲータぬい



「もようのながさ」キー  を押すごとにもよりの長さを1~5倍に変えられます。

ぬい目の巾、あらさを変えると、もようはさらに変化します。

※もようは、



が使えます。

ステップ	表示板	ぬい
① ○ダイレクト ※選択モード モード		
② ③ ⑦		
③ M 記憶		
④ ③ ⑦		
⑤ * もようの ながさ		
⑥ M 記憶		

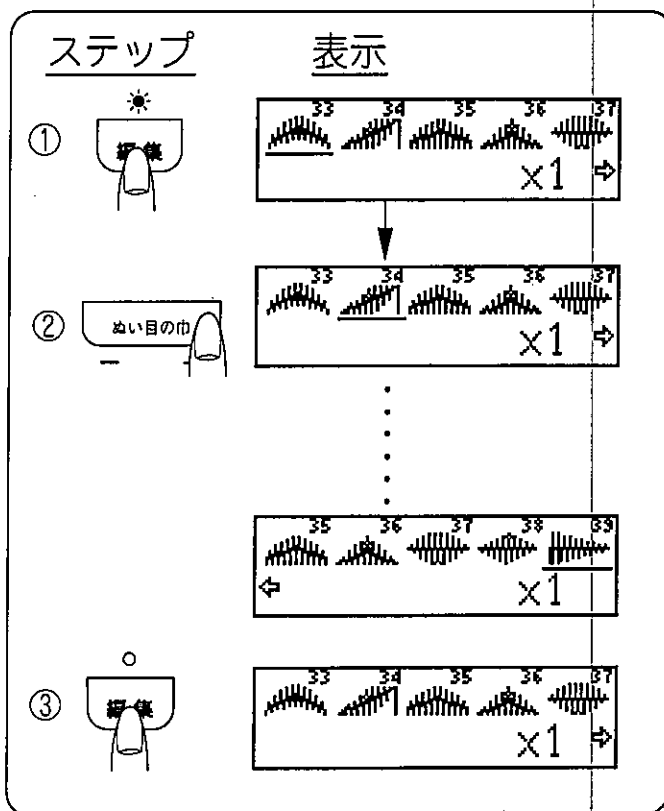
【ぬい例】(もよう# 37)

- ① 選択モードを選びます。
- ② もよう# 37を選びます。
- ③ 「記憶」キーを押します。
- ④ もよう# 37を選びます。
- ⑤ 「もようながさ」キー(エロンゲータ)を押します。もう一度押してx2にします。
- ⑥ 「記憶」キーを押します。
- ⑦ ミシンをスタートしてぬいます。

※ぬいおわりは、最後のもようをぬっている途中に「止めぬいボタン」(◎)を押します。もようを最後までぬって、止めぬいをし、自動的に止まります。

●編集機能 (1)

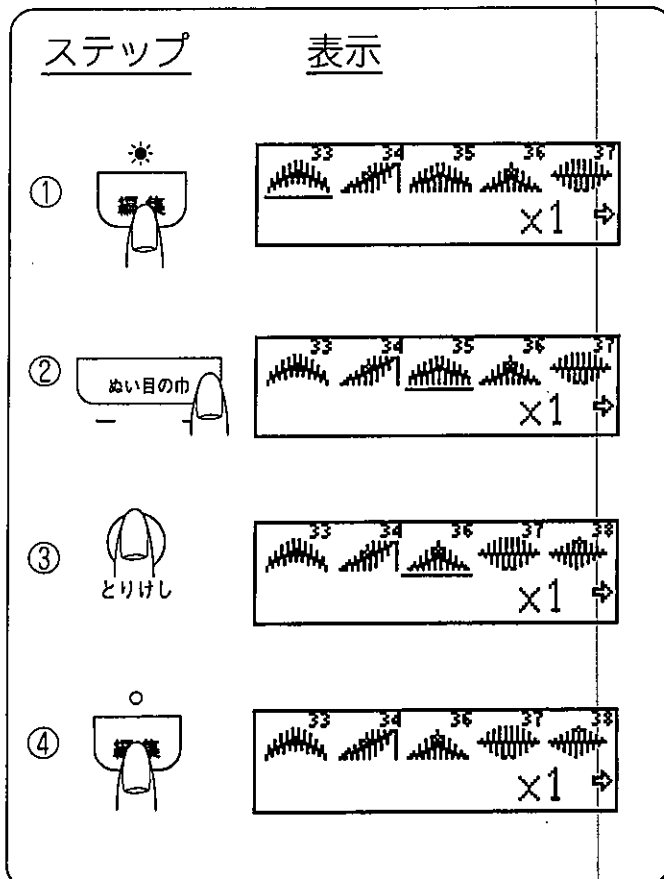
◎プログラム内容の確認



例) もよう# 33～39が記憶されているとき

- ①「編集」キーを押します。
はじめに記憶したもようにカーソルが点滅します。
※⇒マークは、「もよう# 37」のうしろにももようが記憶されていることを示します。
- ②「ぬい目の巾」キー「+」でカーソルを移動させます。
※「-」キーを押すと左へカーソルが移動します。
- ③はじめの表示に戻すときは、「編集」キーを押します。

◎内容の一部を取り消すとき



例) もよう# 35の取り消し

- ①「編集」キーを押します。
- ②「ぬい目の巾」キー「+」で「もよう# 35」のところへ移動します。
- ③「とりけし」キーを押すと、「もよう# 35」が取り消されます。
- ④「編集」キーを押します。

そうにゆう
◎内容の一部挿入

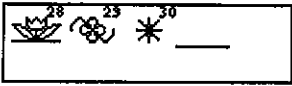

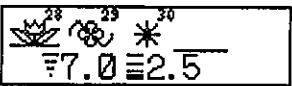

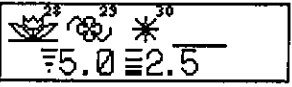

ステップ	表示
①	
②	
③	
④	
⑤	

例) もよう # 28 の挿入

- ①「編集」キーを押します。
- ②「ぬい目の巾」キーを押し、挿入したい場所の次のようにカーソルを移動させます。
- ③テンキーでもよう # 28 を入力します。
- ④「記憶」キーを押すともよう # 28 が挿入されます。
- ⑤「編集」キーを押します。

●編集機能 (2)

◎統一マニュアル方式

ステップ	表示	ぬい
①		
②	ぬい目の巾 - + 	
③	ぬい目の巾 - + 	

オート値のぬい目の巾
ぬい目の巾「5.0」

プログラムされた複数もよう全体を一つのもようとして、ぬい目の巾・あさを一括調節する方法です。

(例) ぬい目の巾を統一する方法




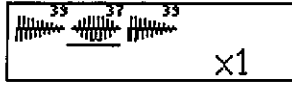






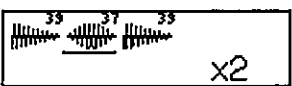

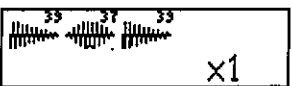

① もよう # 28・# 29・# 30 を記憶します。

② 「ぬい目の巾」 キーを押します。
※ぬい目のあさは「ぬい目あさ」キーを使い、ここで同時に変更できます。

③ 「-」 キーを押してぬい目の巾を 5.0 にします。

※ミシンをスタートさせてぬうと、すべてのもようのぬい目巾が最大 5.0 に設定されます。

◎個別マニュアル方式

ステップ	表示	ぬい
①	 編集 	
②	ぬい目の巾 - + 	
③	説明 	
④	 もようのながさ 	
⑤	説明 	
⑥	編集 	

もよう長さ
x2に変更

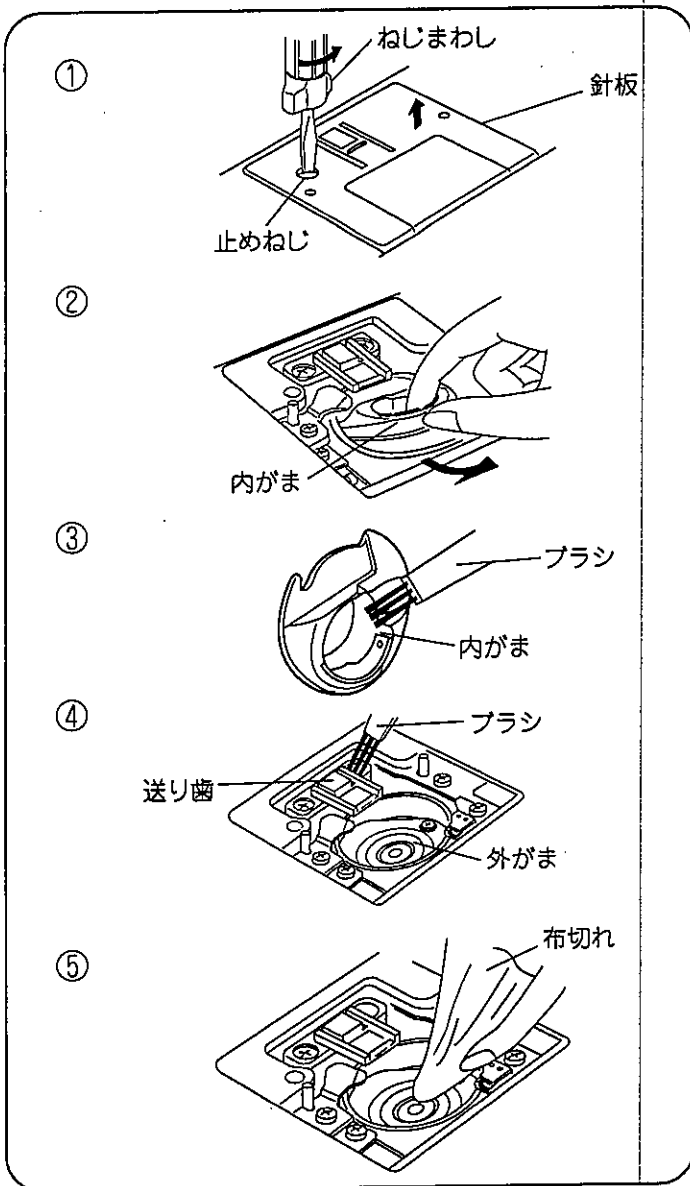
プログラムされた個々のもようについて、ぬい目の巾・あさ・もよう長さを調節する方法です。

(例) もよう長さ # 37 の一ヶ所を変更する方法
(もよう # 39・# 37・# 39 を記憶)

- ① 「編集」 キーを押します。
- ② 「ぬい目の巾」 キーを押し変更するもようカーソルを合わせます。
- ③ 「説明」 キーを押します。
- ④ 「もようのながさ」 キーを押し「x2」にします。
※ぬい目の巾は「ぬい目の巾」キーで、ぬい目のあさは「ぬい目のあさ」キーを使い、ここで同時に変更できます。
- ⑤ 「説明」 キーを押します。
※「説明」キーを押した後、スタート・ストップボタンでぬうことができます。
- ⑥ 「編集」 キーを押します。
※始めの画面にもどすときに押します。

●ミシンのお手入れ

◎かまと送り歯の掃除

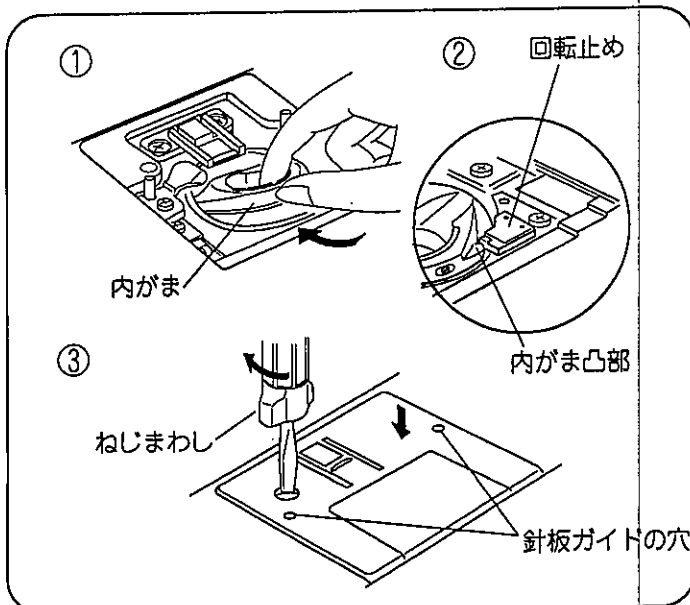


お手入れのときは…
 ※上下停針ボタンを押して針をあげてから、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。
 ※説明されている箇所以外は分解しないでください。

- ①針と押さえをはずします。
針板止めねじをはずし、針板をはずします。
- ②ボビンを取り出し、内がまは手前を上へ引きながらはずします。
- ③内がまをブラシで掃除し、布切れで軽くふきます。
- ④送り歯のごみをブラシで手前に落とし、さらに外がまを掃除します。
- ⑤外がまの中央部を布切れで軽くふきます。

※ブラシで掃除しにくい乾いた糸くずやほこりは、電気掃除機などで吸い取ってください。

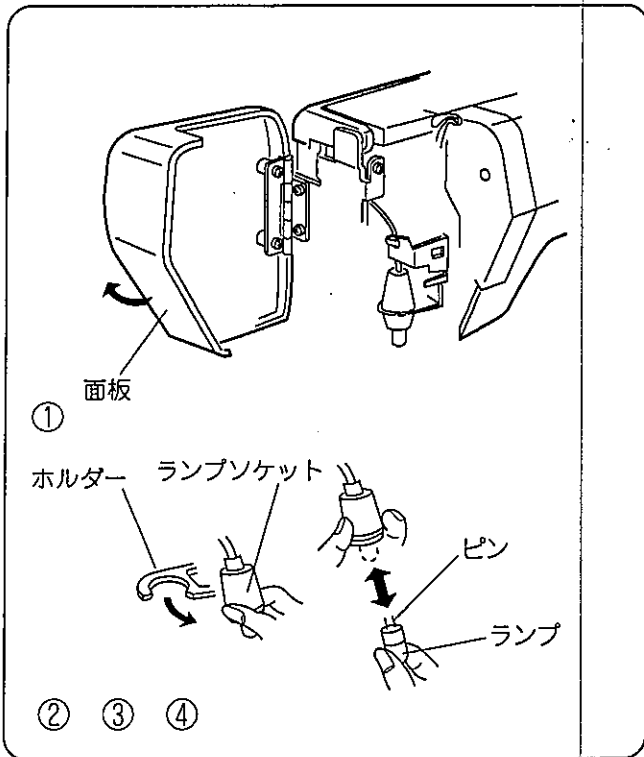
◎内がまと針板の組みつけ



- ①内がまを差し込みます。
- ②内がまの凸部を回転止めの左側におさめます。
- ③ボビンを入れ、2箇所の針板ガイドピンに針板ガイドの穴をあわせ、止めねじをしめます。

※お手入れが終わったら、忘れずに針と押さえをつけてください。

●ランプのとりかえ方



※電源スイッチは、必ず切ってください。
※とりかえは、ランプが冷えてから行なってください。

【とりはずし】

- ① 面板を開けます。
- ② ランプソケットをホルダーからはずして、ランプを引き抜きます。

【とりつけ】

- ③ ランプのピンをソケットの穴に合わせながら、差し込みます。
- ④ ランプソケットをホルダーにとりつけ、面板を閉めます。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の場所からみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4. 針のつけ方がまちがっている。 5. ぬい始めに、上糸・下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 7. 針にくらべて糸が太すぎるか、細すぎる。 	<p>19 ページ参照 22 ページ参照 15 ページ参照 15 ページ参照 23 ページ参照 23 ページ参照 15 ページ参照</p>
下糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 下糸の通し方が、まちがっている。 2. 内がまの中に、ごみがたまっている。 3. ポビンにキズがあり、回転がなめらかでない。 	<p>18 ページ参照 60 ページ参照 ポビンを交換する。</p>
針がおれる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針のつけ方がまちがっているか、針がまがっている。 2. 針止めねじのしめつけが、ゆるんでいる。 3. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 4. 布にくらべて針が細すぎる。 	<p>15 ページ参照 15 ページ参照 23 ページ参照 15 ページ参照</p>
ぬい目がとぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針のつけ方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 布に対して、針と糸があっていない。 3. 伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、ジャンメブルー針（市販SP針）を使っていない。 4. 上糸のかけ方がまちがっている。 5. 品質の悪い針を使用している。 	<p>15 ページ参照 15 ページ参照 15 ページ参照 19 ページ参照 針を交換する。</p>
ぬい目がしわになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子があっていない。 2. 上糸・下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布にくらべて針が太すぎる。 4. 布にくらべてぬい目があらずすぎる。 5. 押さえ圧があっていない。 *特にうすい布をぬうときは、下側に紙をあててぬってください。 	<p>22 ページ参照 18,19 ページ参照 15 ページ参照 ぬい目を細かくする。 13 ページ参照</p>
布送りがうまくいかない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 送り歯に糸くずがたまっている。 2. ぬい目が細かすぎる。 3. 送り歯があがっていない。 	<p>60 ページ参照 ぬい目をあらくする。 13 ページ参照</p>
ぬい目にみぞができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸にくらべて針が太すぎるか、細すぎる。 	<p>22 ページ参照 15 ページ参照</p>
ミシンがまわらない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンセントに、プラグがきちんと差し込まれていないか、つなぎ方がまちがっている。 2. かまに、糸やごみがたまっている。 3. 糸巻き軸が、下糸をまいたあと、元にもどっていない。（糸巻き状態になっている） 4. フットコントローラ（別売品）を接続したままでスタート・ストップボタンを押している。 5. フットコントローラ（別売品）を踏んだままで、電源を入れた。または、電源を入れた直後にフットコントローラを踏んだ。 	<p>6 ページ参照 60 ページ参照 17 ページ参照 6 ページ参照 フットコントローラを離して電源を入れ直す。</p>
ボタンホールがうまくいかない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 布に対して、ぬい目のあさがあっていない。 2. 伸縮性のある布のとき、のびない芯地を使っていない。 	<p>36 ページ参照 33 ページ参照</p>
音が高い。	<ol style="list-style-type: none"> 1. かまの部分に、糸くずがまき込まれている。 2. 送り歯に、ごみがたまっている。 3. 電源投入時、ステッピングモーターからわずかな共鳴音ができる。 	<p>60 ページ参照 60 ページ参照 異常ではありません。</p>
ぬいずれがおこる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 押さえ圧が、あっていない。 	<p>13 ページ参照</p>

仕 様	
使用電圧	100V 50/60Hz
消費電力	50W/ランプ 3W
外形寸法	幅 39.5cmX 奥行 18.5cmX 高さ 29cm
重 量	8.6Kg (本体)
使用針	家庭用 HAX1
縫 速 度	毎分 700 回転 <u>コントローラー使用時</u> (毎分 820 回転)✓

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

お 客 様 相 談 コ ー ナ ー

★ジャノメマシンでは全国170の直営支店で万全のアフターサービスをしております。この手びきに書かれている方法で直らないときは、最寄りの支店へご連絡ください。

★お問い合わせの際は、この手びきをお読みになりながらお電話くださると係員も故障の原因や箇所がわかって便利です。

★アフターサービスについて、ご相談、ご要望がございましたら、本社お客様相談室または、下記の代表支店へ何なりとお申しつけください。

本社・お客様相談室 ☎ 03 (3277) 2200
☎ 104-8311 東京都中央区京橋3-1-1

池袋支店 ☎ 03 (3987) 5266
☎ 170-0013 東京都豊島区東池袋1-28-7

西東京支店 ☎ 03 (3337) 0482
☎ 166-0001 東京都杉並区阿佐ヶ谷北2-36-1

八王子支店 ☎ 0426 (42) 0777
☎ 192-0046 東京都八王子市明神町4-11-12

横浜支店 ☎ 045 (842) 3816
☎ 233-0002 神奈川県横浜市港南区上大岡西1-13-18

千葉支店 ☎ 043 (222) 5121
☎ 260-0012 千葉県千葉市中央区本町1-5-14

船橋支店 ☎ 0474 (32) 2785
☎ 273-0011 千葉県船橋市湊町2-1-8

大宮支店 ☎ 048 (641) 2975
☎ 330-0841 埼玉県大宮市東町1-66-1 第3開新社ビル1F

川越支店 ☎ 0492 (22) 2454
☎ 350-0043 埼玉県川越市新富町1-12-12

高崎支店 ☎ 027 (324) 0055
☎ 370-0831 群馬県高崎市新町118

富山支店 ☎ 0764 (31) 8827
☎ 930-0029 富山県富山市本町3-25

三条支店 ☎ 0256 (32) 1737
☎ 955-0071 新潟県三条市本町4-1-8

長野支店 ☎ 026 (228) 1491
☎ 380-0928 長野県長野市若里3-1-43

仙台支店 ☎ 022 (249) 4161
☎ 982-0011 宮城県仙台市太白区長町5-3-25

郡山支店 ☎ 024 (932) 3362
☎ 963-8024 福島県郡山市朝日1-13-2 朝日吉田ビル

盛岡支店 ☎ 019 (624) 6741
☎ 020-0021 岩手県盛岡市中央通2-9-20

名古屋支店 ☎ 052 (733) 5116
☎ 466-0027 愛知県名古屋市昭和区阿由知通1-12-3

四日市支店 ☎ 0593 (51) 2081
☎ 510-0085 三重県四日市市諏訪町14-1

清水支店 ☎ 0543 (66) 7050
☎ 424-0815 静岡県清水市江尻東3-1-1

大阪支店 ☎ 06 (6583) 8031
☎ 552-0002 大阪府大阪市港区市岡元町3-1-4

奈良支店 ☎ 0742 (35) 5316
☎ 630-8122 奈良県奈良市三条本町9-1 三条通りカーアンハイツ1F

和歌山支店 ☎ 0734 (31) 6216
☎ 640-8033 和歌山県和歌山市本町2-12

尼崎支店 ☎ 06 (6432) 3307
☎ 661-0041 兵庫県尼崎市武庫の里1-12-3

加古川支店 ☎ 0794 (23) 9980
☎ 675-0066 兵庫県加古川市加古川町寺家町75-8

西陣支店 ☎ 075 (461) 7940
☎ 602-8276 京都府京都市上京区千本通上長者町上ル百万遍町89

岡山支店 ☎ 086 (222) 8896
☎ 700-0814 岡山県岡山市天神町1-26

広島支店 ☎ 082 (228) 5181
☎ 730-0016 広島県広島市中区幟町15-9

徳島支店 ☎ 088 (622) 2053
☎ 770-0932 徳島県徳島市仲之町3-22

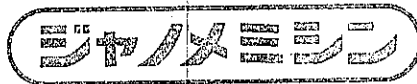
福岡西新支店 ☎ 092 (821) 6495
☎ 814-0002 福岡県福岡市早良区西新2-6-2

熊本支店 ☎ 096 (354) 6523
☎ 860-0845 熊本県熊本市上通り町8-15

長崎支店 ☎ 095 (849) 6025
☎ 852-8107 長崎県長崎市浜口町3-8

(株) ジャノメ北海道販売 札幌本店 ☎ 011 (861) 5634
☎ 003-0027 札幌市白石区本通3丁目北1-21

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。



東京都中央区京橋3-1-1 蛇の目マシン工業 (株)